

**将来の乙訓2市1町のあり方
(合併問題)に関するアンケート調査
報告書**

平成20年2月

京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会

目 次

I. 調査の概要

1	調査目的	3
2	調査設計	3
3	回収結果	3
4	調査項目	4
5	本報告書の数値について	4

II. 調査回答者の属性

1	住まい別	7
2	性別	7
3	年齢別	7
4	職業別	7
5	居住年数別	8

III. 各設問調査結果

1	日常生活圏について	11
2	くらしやまちの将来について	19
3	合併問題の調査研究の活動について	34
4	合併問題について	38

IV. 自由意見

自由意見	51
------	----

V. 資料

アンケート調査票	55
----------	----

I. 調査の概要

1 調査目的

今日、交通・情報通信網の発達、日常生活圏の拡大、少子高齢化に伴い、市町村においても行政サービスの多様化・高度化が求められています。それに伴い、行財政基盤の充実も今後一層力を入れていく必要があります。

乙訓2市1町にとって注目すべき方策の一つとなっているのが、合併問題であり、現在乙訓2市1町と京都府山城広域振興局で構成される「京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会」によって調査・研究を行っています。

本調査は、乙訓2市1町の住民の皆さんが、合併に対して率直にどのように感じているのか、若しくはどのような関心を持っているのか把握し、合併問題を検討する基礎資料とするために実施しました。

2 調査設計

(1) 調査対象

平成19年10月22日現在、乙訓2市1町に住所を有する満18歳以上の方3,000人を対象としました。(ただし、同日以降に死亡及び転出された方は除いています。)

(2) 調査方法

アンケート調査票は、郵送による配布と回収(返信用封筒を同封)を行いました。

(3) 実施期間

平成19年10月26日(金)～11月9日(金)

3 回収結果

市町名	調査対象数	発送数(除返戻)	有効回収数	有効回収率
向日市	1,100	1,094	435	39.8%
長岡京市	1,600	1,594	669	42.0%
大山崎町	300	300	126	42.0%
合計	3,000	2,988	1,235	41.3%

有効回収数の合計には居住市町不明5を含む。

4 調査項目

- (1) 基本的な属性 (問1)
 - ① 住まい別
 - ② 性別
 - ③ 年齢別
 - ④ 職業別
 - ⑤ 居住年数別
- (2) 日常生活圏について (問2)
- (3) くらしやまちの将来について (問3)
- (4) 将来のまちのイメージについて (問4)
- (5) まちづくりへの重点的な施策について (問5)
- (6) 乙訓地域分科会の認識度について (問6)
- (7) 乙訓地域分科会の関心度について (問7)
- (8) 合併の賛否について (問8)
- (9) 合併に賛成する理由について (問9①)
- (10) 合併の枠組みについて (問9②)
- (11) 合併に反対する理由について (問10)
- (12) 合併にどちらともいえない理由について (問11)
- (13) 合併の賛否についてわからない理由について (問12)

5 本報告書の数値について

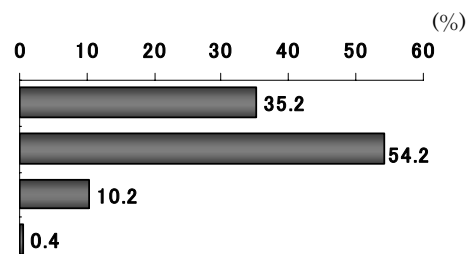
- (1) 比率はすべて百分率 (%) で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。
このため、合計が100%に満たなかったり、超えたりする場合があります。
- (2) 回答が2つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は100%を超える場合があります。
- (3) 図中のnは回答者数を示しています。ある質問の「特定の回答」を選んだ人のみが答える質問は、「限定質問」であり、その場合の回答者数は特定の回答者数となります。

Ⅱ. 調査回答者の属性

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

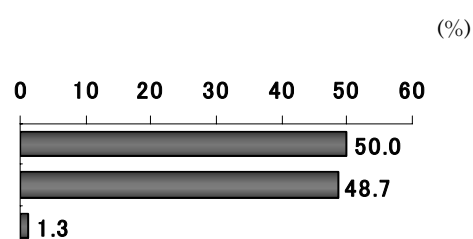
1 住まい別

回答項目	回答人数	%
向日市	435	35.2
長岡京市	669	54.2
大山崎町	126	10.2
無回答	5	0.4
全体	1,235	100.0



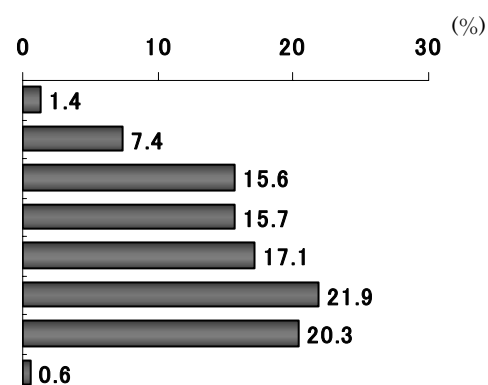
2 性別

回答項目	回答人数	%
男	618	50.0
女	601	48.7
無回答	16	1.3
全体	1,235	100.0



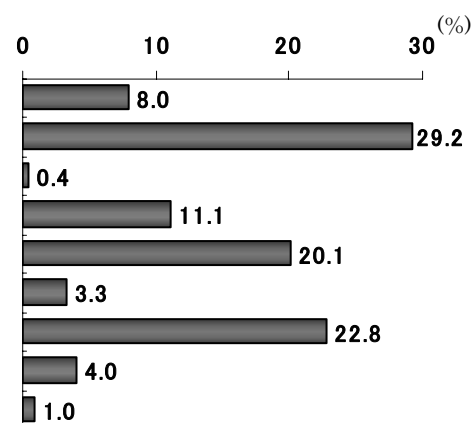
3 年齢別

回答項目	回答人数	%
10歳代	17	1.4
20歳代	91	7.4
30歳代	193	15.6
40歳代	194	15.7
50歳代	211	17.1
60歳代	271	21.9
70歳以上	251	20.3
無回答	7	0.6
全体	1,235	100.0



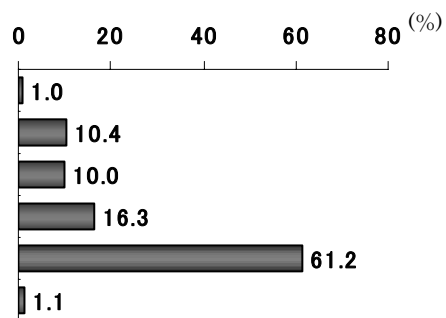
4 職業別

回答項目	回答人数	%
自営業・自由業	99	8.0
会社員・公務員	361	29.2
農林水産業	5	0.4
パート・アルバイト	137	11.1
家事	248	20.1
学生	41	3.3
無職	282	22.8
その他	50	4.0
無回答	12	1.0
全体	1,235	100.0



5 居住年数別

回答項目	回答人数	%
1年未満	12	1.0
1年以上5年未満	128	10.4
5年以上10年未満	124	10.0
10年以上20年未満	201	16.3
20年以上	756	61.2
無回答	14	1.1
全体	1,235	100.0



Ⅲ. 各設問調査結果

1 日常生活圏について

問2① あなたの生活行動のうち(1)～(6)について、主な行き先について、あてはまる番号1つに○印をつけてください。

「日用品の買い物」、「病院や診療所」では長岡京市がトップ
 「勤務先・通学先」、「耐久消費財(テレビ・家具など)の購入」、「映画・音楽などの娯楽」、「スポーツ・レクリエーション」では京都市がトップ

【全体】

勤務先・通学先についてみると、「京都市」が18.5%と最も高く、「大阪府内」が13.2%、「長岡京市」が12.8%で続いており、都市部に行く傾向がみられる。

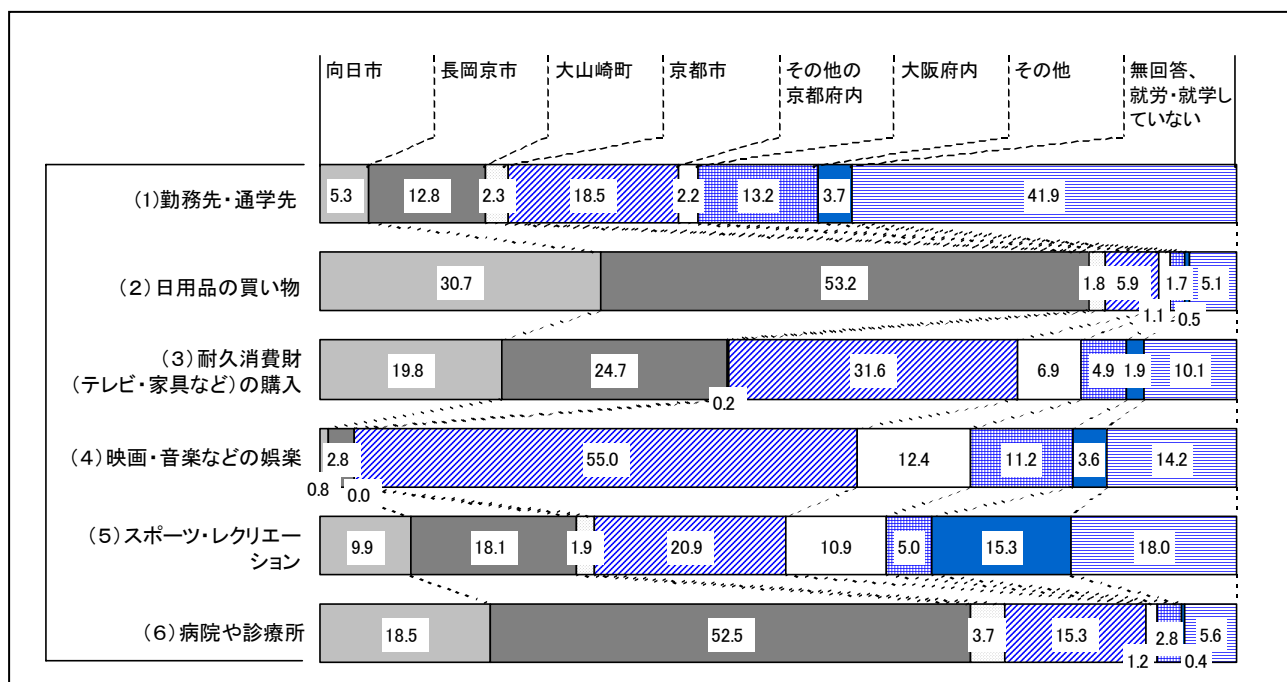
日用品の買い物についてみると、「長岡京市」が53.2%と最も高く、「向日市」が30.7%、「京都市」が5.9%で続いている。

耐久消費財(テレビ・家具など)の購入についてみると、「京都市」が31.6%と最も高く、「長岡京市」が24.7%、「向日市」が19.8%で続いている。

映画・音楽などの娯楽についてみると、「京都市」が55.0%と最も高く、「その他京都府内」が12.4%、「大阪府内」が11.2%で続いている。

スポーツ・レクリエーションについてみると、「京都市」が20.9%と最も高く、「長岡京市」が18.1%、「その他」が15.3%で続いている。

病院や診療所についてみると、「長岡京市」が52.5%と最も高く、「向日市」が18.5%、「京都市」が15.3%で続いている。



※ (1) 勤務先・通学先は、他の項目と比較するため「無回答」と「就労・就学していない」をあわせている。

問2② あなたの生活行動のうち(1)～(6)について、その時の交通手段について、あてはまる番号1つに○印をつけてください。

「勤務先・通学先」、「映画・音楽などの娯楽」では電車がトップ
 「日用品の買い物」では自転車・徒歩がトップ
 「耐久消費財(テレビ・家具など)の購入」、「スポーツ・レクリエーション」、「病院や診療所」では自家用車・バイクがトップ

【全体】

勤務先・通学先についてみると、「電車」が23.9%と最も高く、「自家用車・バイク」が18.3%、「自転車・徒歩」が12.1%で続いている。

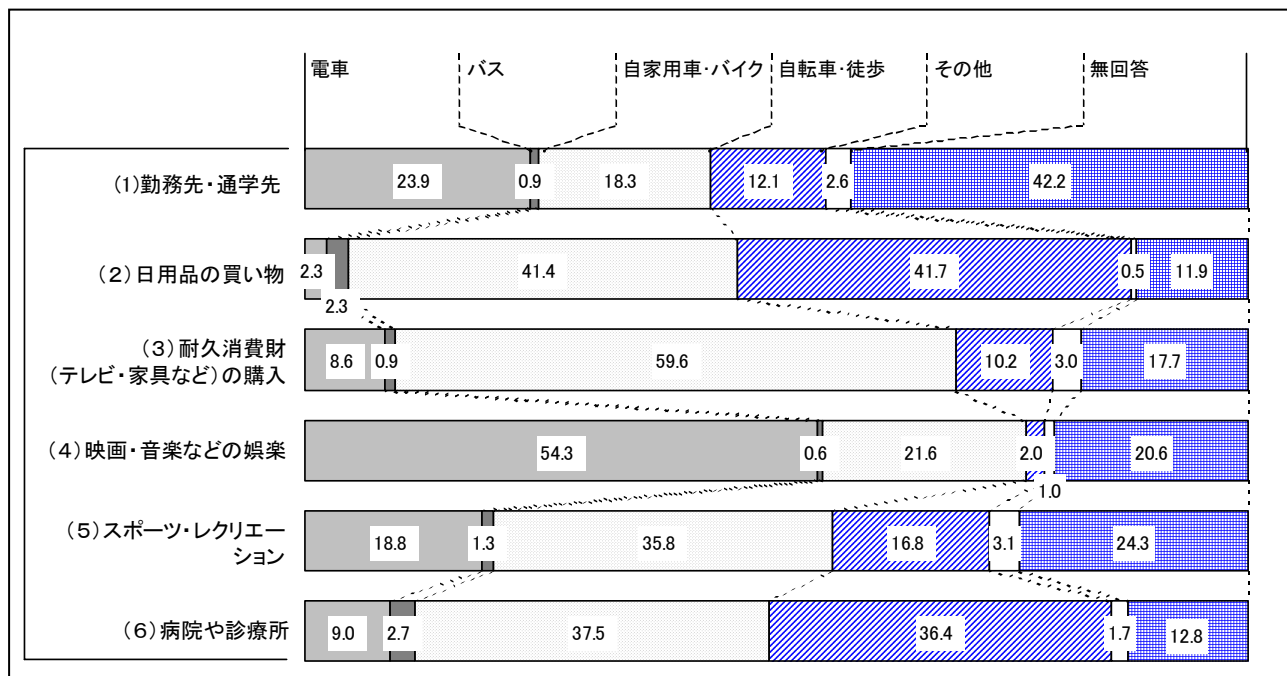
日用品の買い物についてみると、「自転車・徒歩」が41.7%と最も高く、「自家用車・バイク」が41.4%で続いている。

耐久消費財(テレビ・家具など)の購入についてみると、「自家用車・バイク」が59.6%と最も高く、「自転車・徒歩」が10.2%、「電車」が8.6%で続いている。

映画・音楽などの娯楽についてみると、「電車」が54.3%と最も高く、「自家用車・バイク」が21.6%で続いている。

スポーツ・レクリエーションについてみると、「自家用車・バイク」が35.8%と最も高く、「電車」が18.8%で続いている。

病院や診療所についてみると、「自家用車・バイク」が37.5%と最も高く、「自転車・徒歩」が36.4%で続いている。

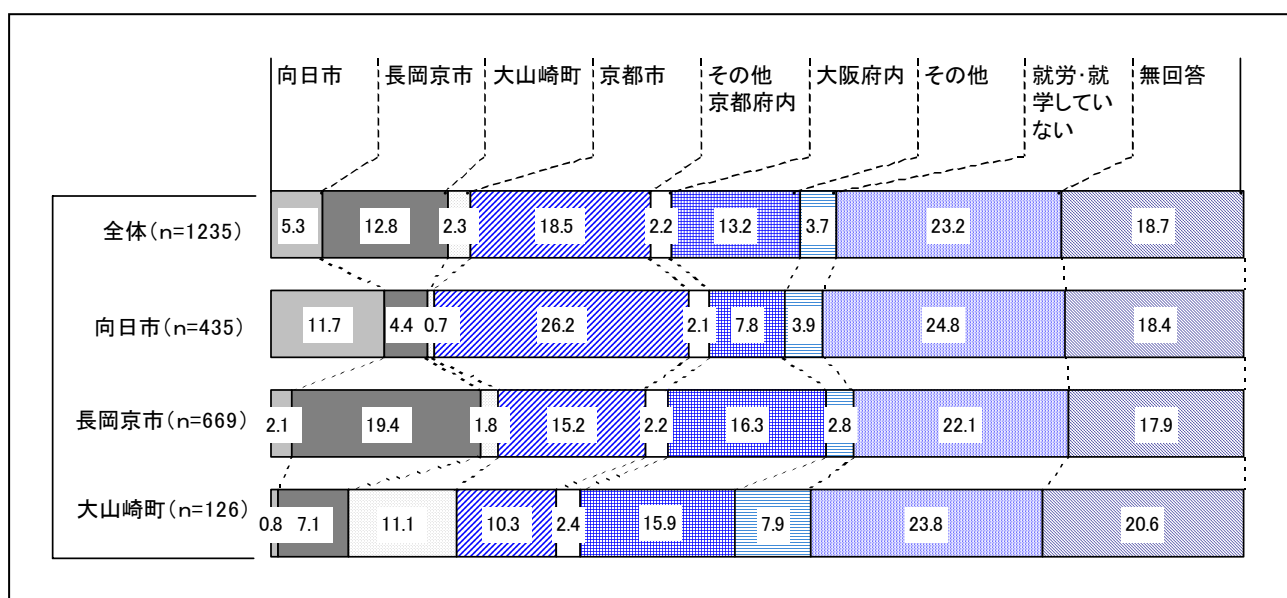


(1) 勤務先・通学先

① 主な行き先

【市町別】

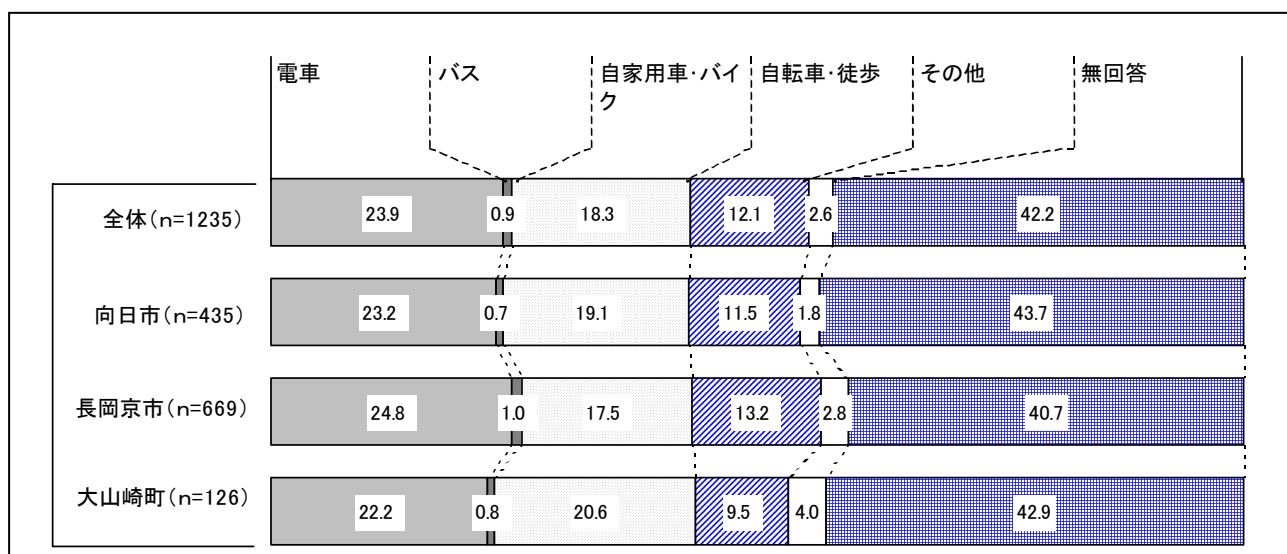
向日市では、「京都市」が26.2%と最も高く、大山崎町では「大阪府内」が15.9%と近隣の大都市に行く傾向がある。長岡京市では、「大阪府内」(16.3%)、「京都市」(15.2%)の近隣の大都市も高いが、地元の「長岡京市」(19.4%)が最も高くなっている。



② 交通手段

【市町別】

いずれの市町においても、「電車」が最も高く、「自家用車・バイク」が続いている。

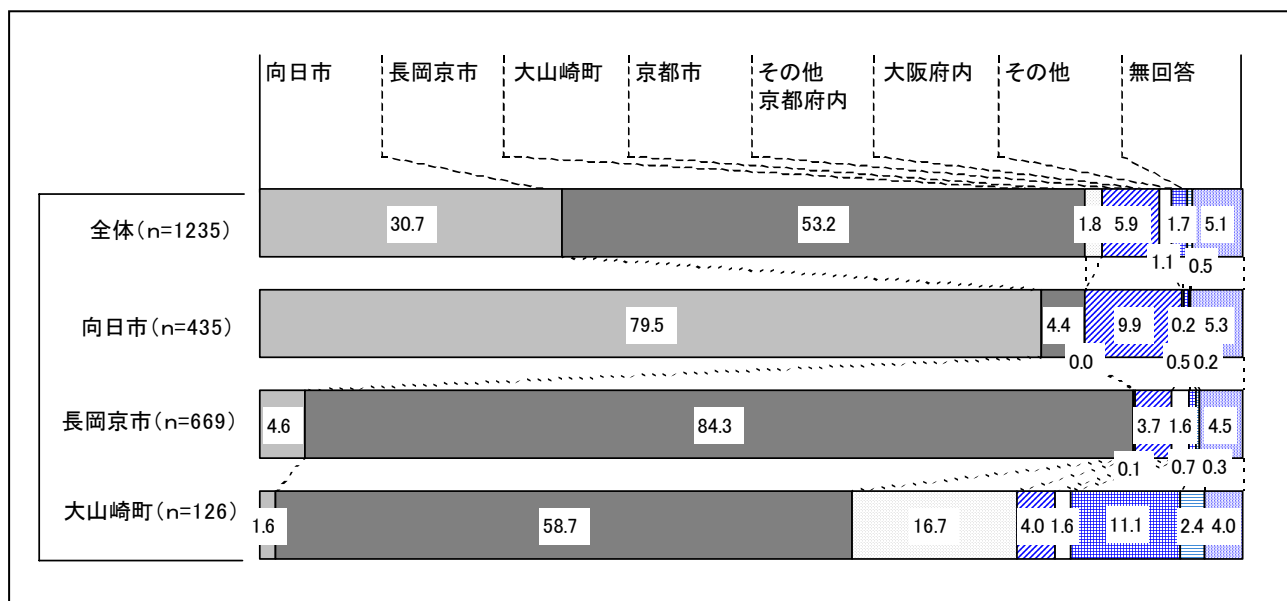


(2) 日用品の買物

①主な行き先

【市町別】

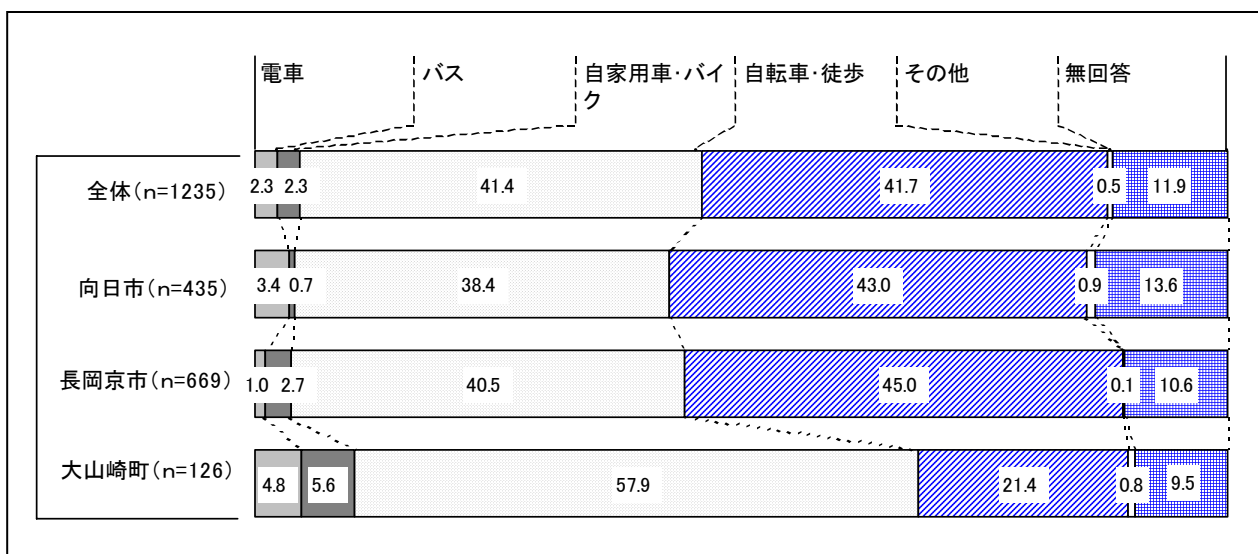
向日市では「向日市」(79.5%)、長岡京市では「長岡京市」(84.3%)が最も高く、それぞれ地元に行く傾向がある。他方、大山崎町では、「長岡京市」が58.7%と最も高く、地元の「大山崎町」が16.7%でそれに続く。



②交通手段

【市町別】

向日市、長岡京市では、行く先が地元に行く人が多いため、「自家用車・バイク」「自転車・徒歩」の2項目が平均して高い。他方、大山崎町では、隣の「長岡京市」に行く人が多いため、「自家用車・バイク」が57.9%と他の項目に比べ大きく高くなっている。

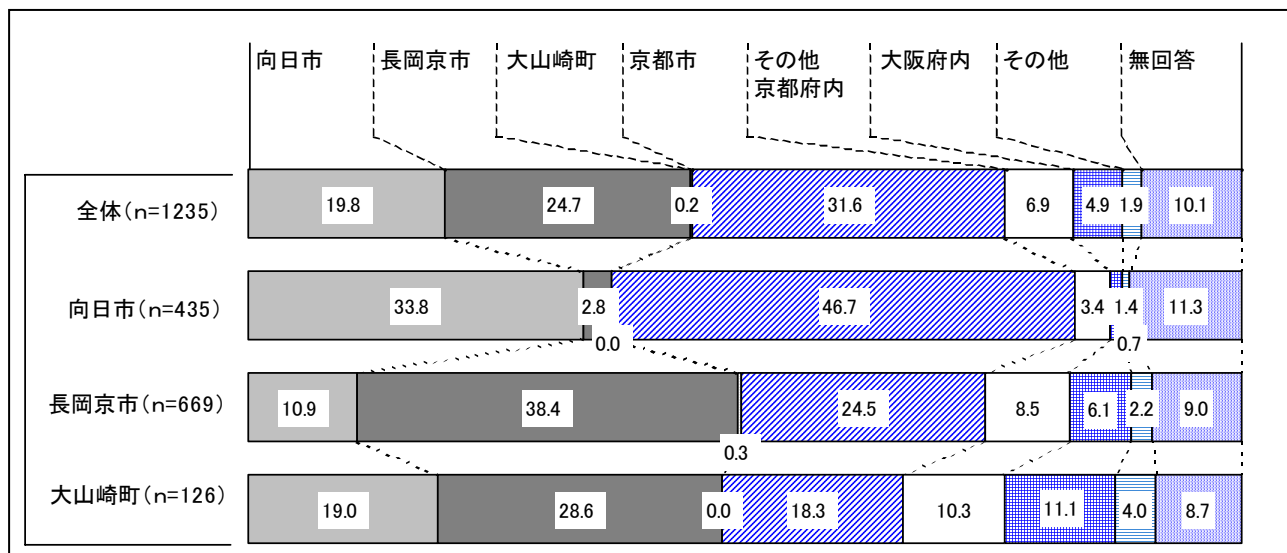


(3) 耐久消費財の購入

①主な行き先

【市町別】

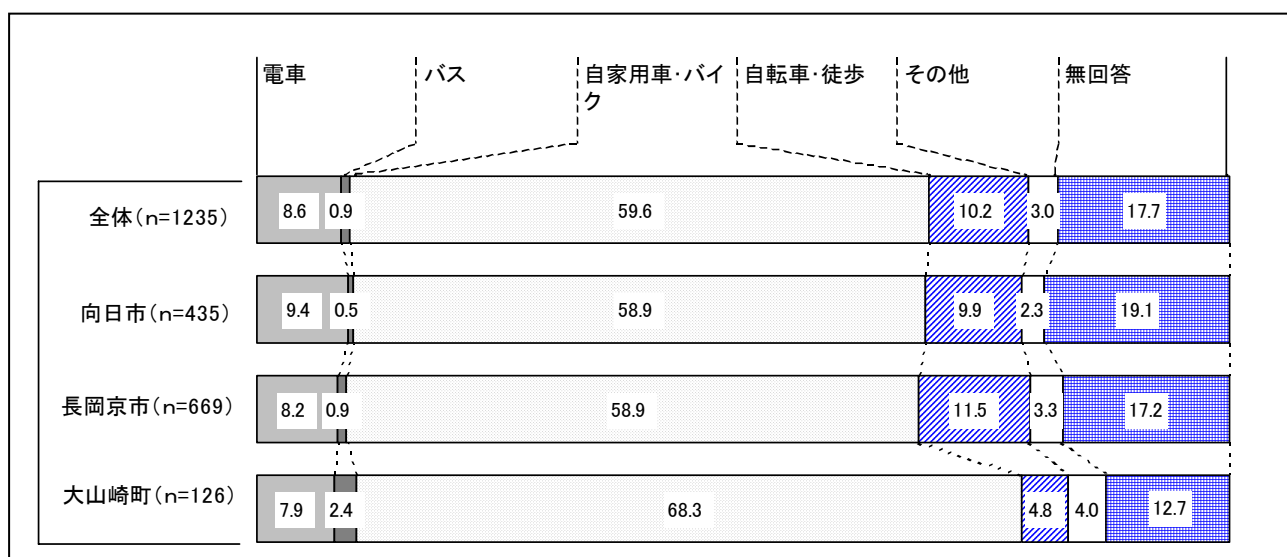
向日市では、「京都市」が46.7%と最も高く、地元の「向日市」が33.8%でそれに続く。長岡京市、大山崎町では、「長岡京市」がそれぞれ38.4%、28.6%と最も高くなっている。



②交通手段

【市町別】

いずれの市町においても、「自家用車・バイク」が最も高くなっている。

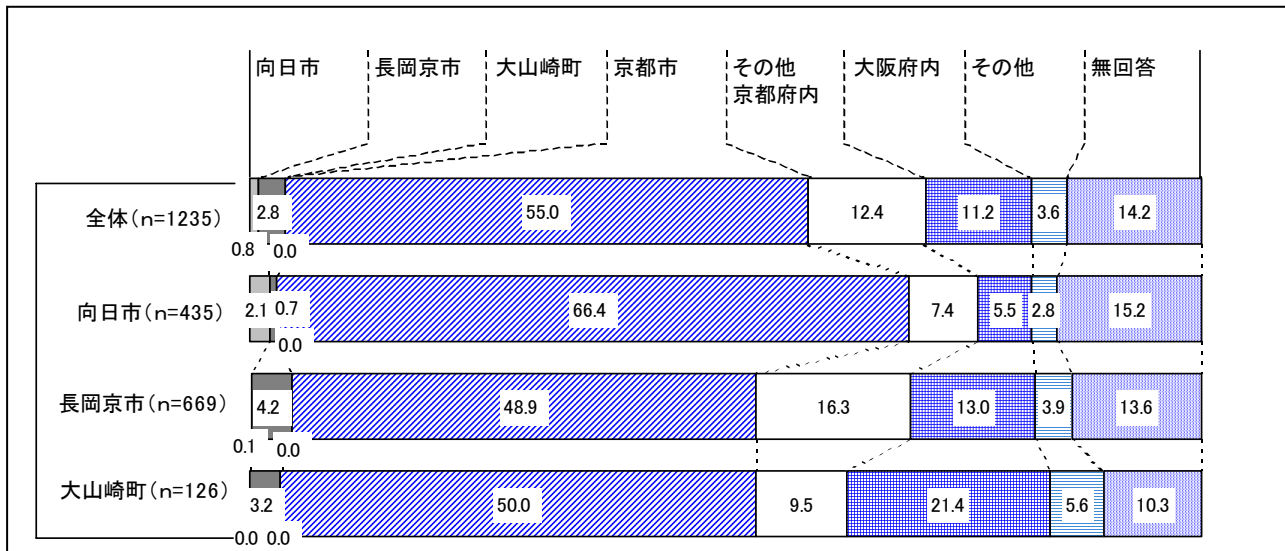


(4) 映画・音楽などの娯楽

① 主な行き先

【市町別】

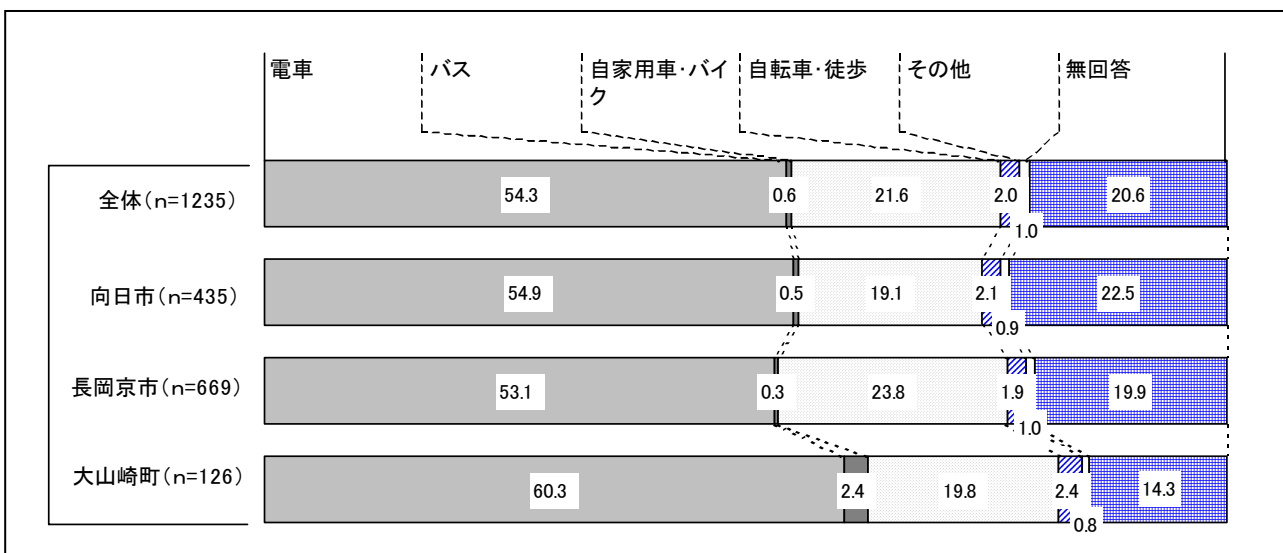
いずれの市町においても、「京都市」(66.4%、48.9%、50.0%)が最も高くなっている。



② 交通手段

【市町別】

いずれの市町においても、「電車」が最も高くなっている。

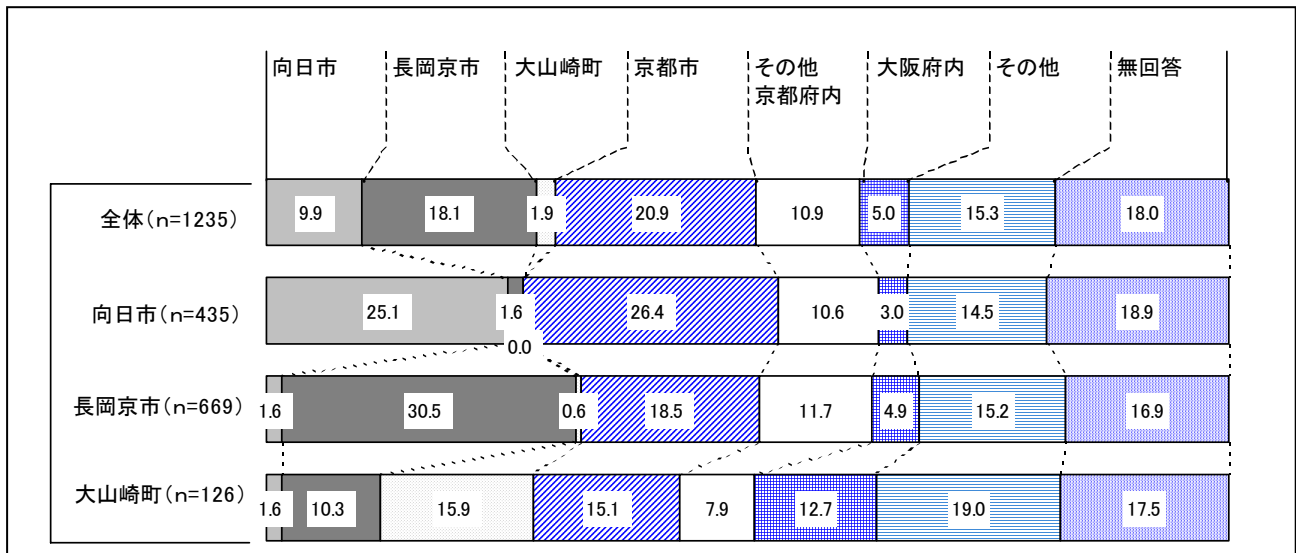


(5) スポーツ・レクリエーション

① 主な行き先

【市町別】

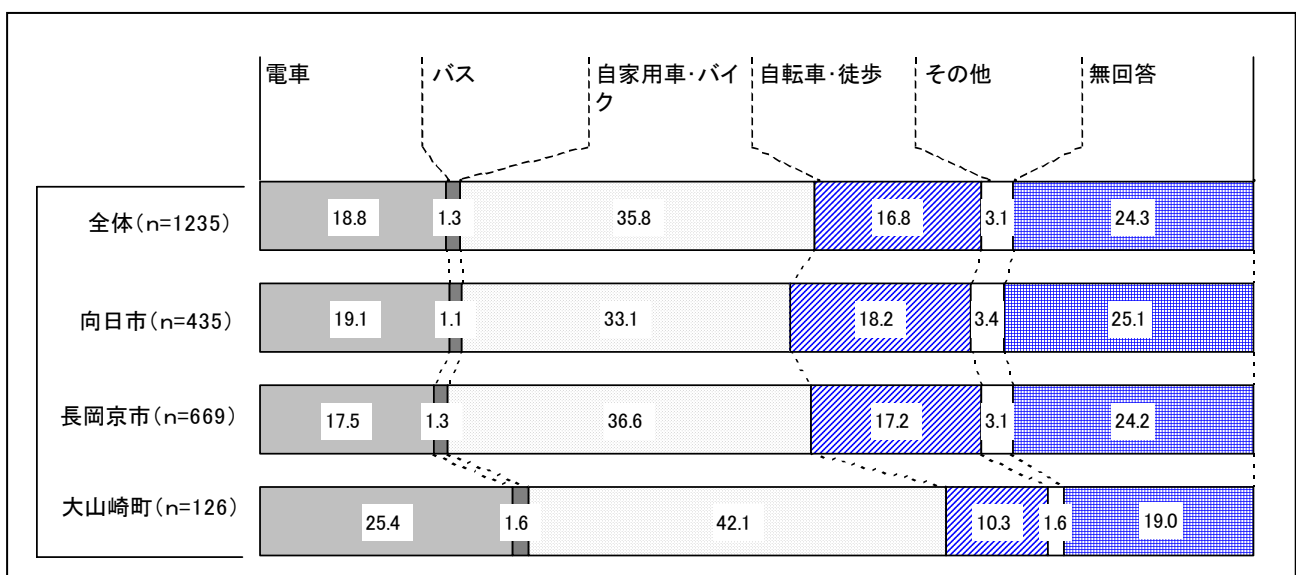
向日市と大山崎町では、それぞれの地元（25.1%、15.9%）と「京都市」（26.4%、15.1%）へ行く比率が均衡している。長岡京市では、地元「長岡京市」が30.5%と最も高く、「京都市」（18.5%）が続く。



② 交通手段

【市町別】

いずれの市町においても、「自家用車・バイク」が最も高くなっている。また、大山崎町では「電車」（25.4%）も他の項目に比べ、高くなっている。

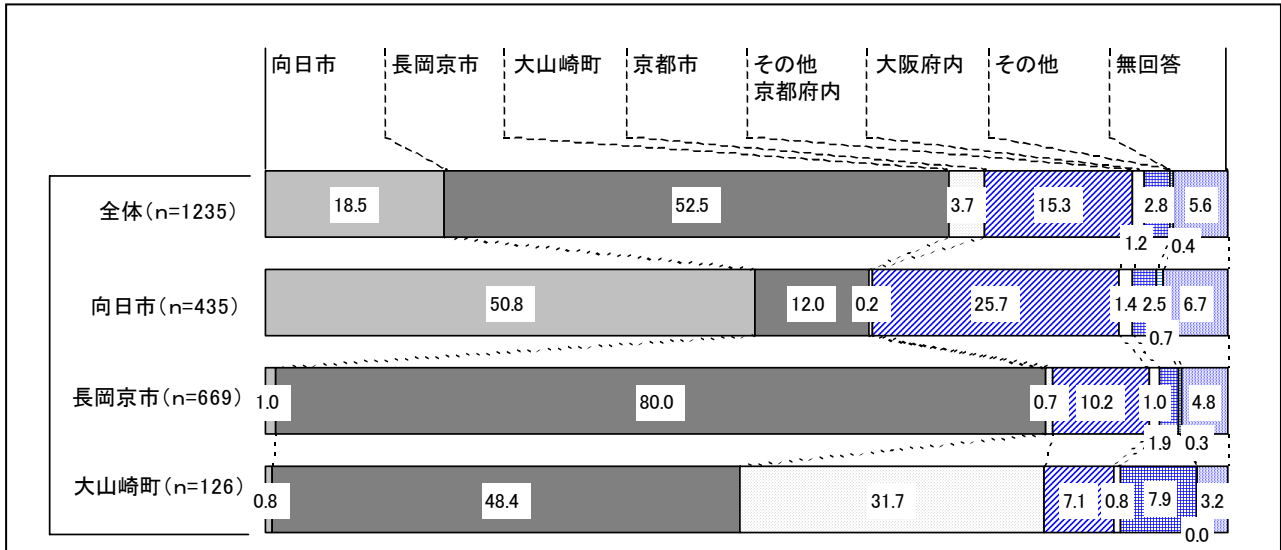


(6) 病院や診療所

①主な行き先

【市町別】

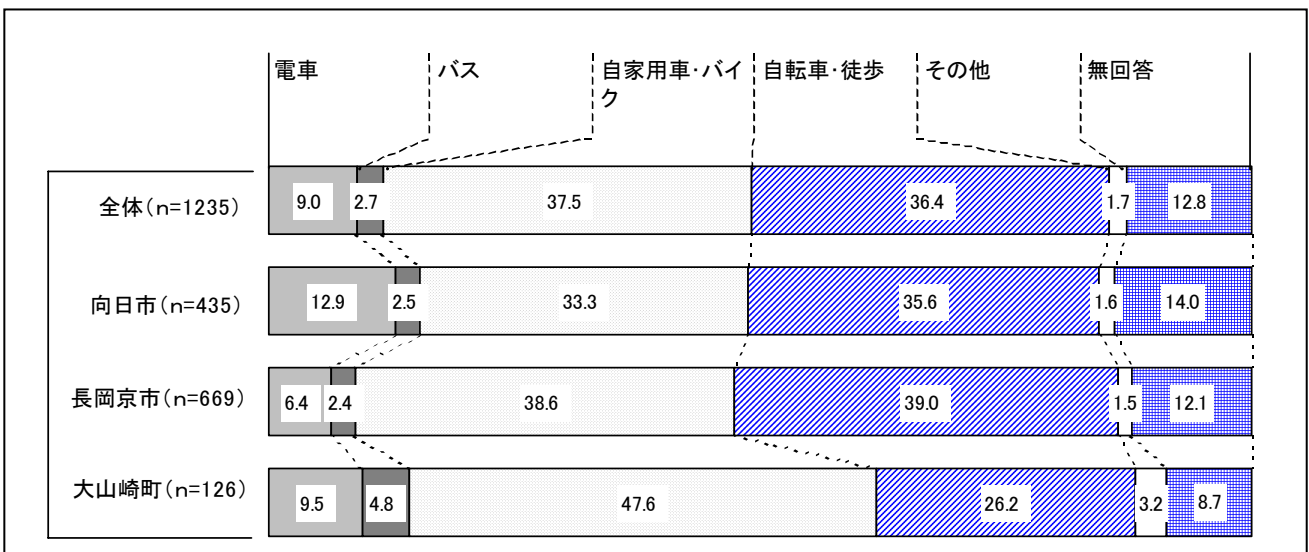
向日市では「向日市」(50.8%)、長岡京市では「長岡京市」(80.0%)が最も高く、それぞれ地元に行く傾向がある。他方、大山崎町では、「長岡京市」が48.4%と最も高く、地元の「大山崎町」が31.7%でそれに続く。



②交通手段

【市町別】

いずれの市町においても、「自家用車・バイク」、「自転車・徒歩」の2項目が高いが、とりわけ、大山崎町では、「自家用車・バイク」が47.6%と高くなっている。



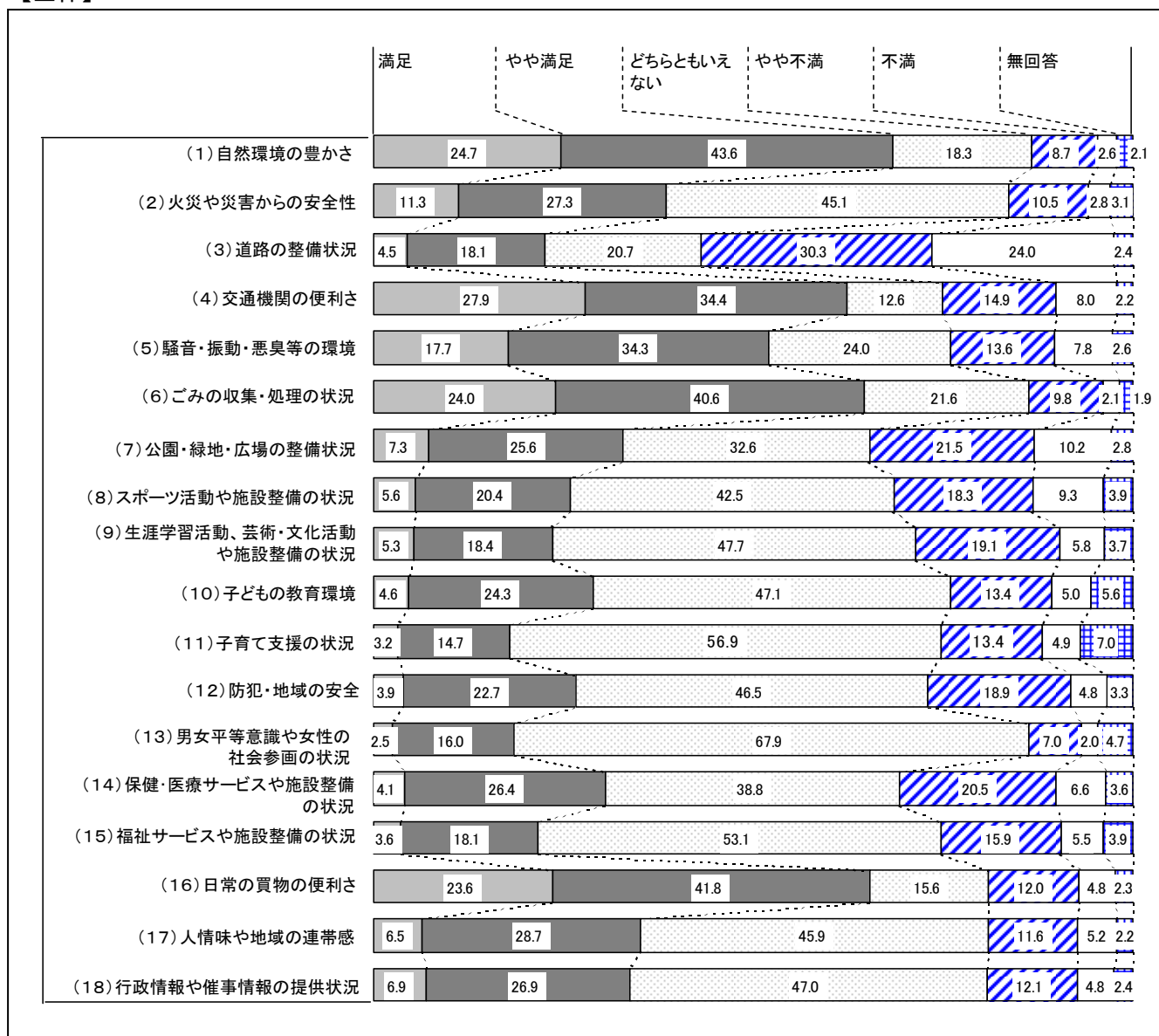
2 くらしやまちの将来について

問3 あなたは、くらしの現状をどう思われますか。下記の(1)～(18)の各項目についてそれぞれあてはまる番号1つに○印をつけてください。

※「満足」と「やや満足」を『満足』とする。また、「不満」と「やや不満」を『不満』とする。

(1)「自然環境の豊かさ」、(4)「交通機関の便利さ」、
(6)「ごみの収集・処理の状況」、(16)「日常の買物の便利さ」の4項目の満足度が高い

【全体】



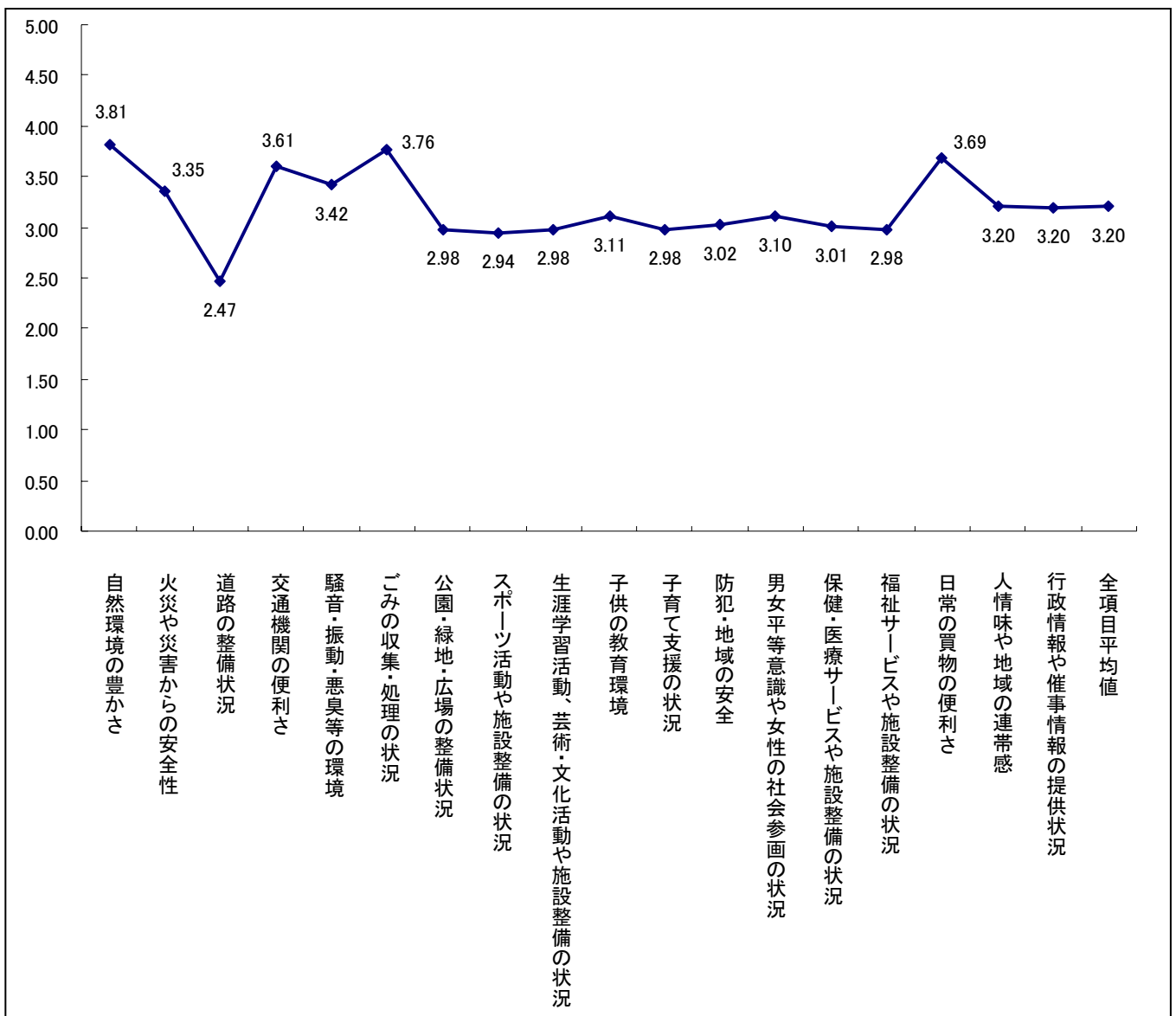
<加重平均値>

くらしやまちの将来についての評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を試みた。これは、下記の計算式にあるように、評価にそれぞれ点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{aligned} & \text{「満足の回答者数」} \times 5 \text{点} + \text{「やや満足の回答者数」} \times 4 \text{点} + \text{「どちらともいえないの回答者数」} \times 3 \text{点} \\ & + \text{「やや不満足回答者数」} \times 2 \text{点} + \text{「不満足回答者数」} \times 1 \text{点} \end{aligned}}{\text{回答者数}}$$

この算出方法では、評価点は5.00点～1.00点の間に分布し中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど「よい」との評価は高くなり、逆に1.00点に近くなるほど「わるい」との評価が高くなる。これによる評価点の高いものと、低いものの上位2項目は次のようになっている。

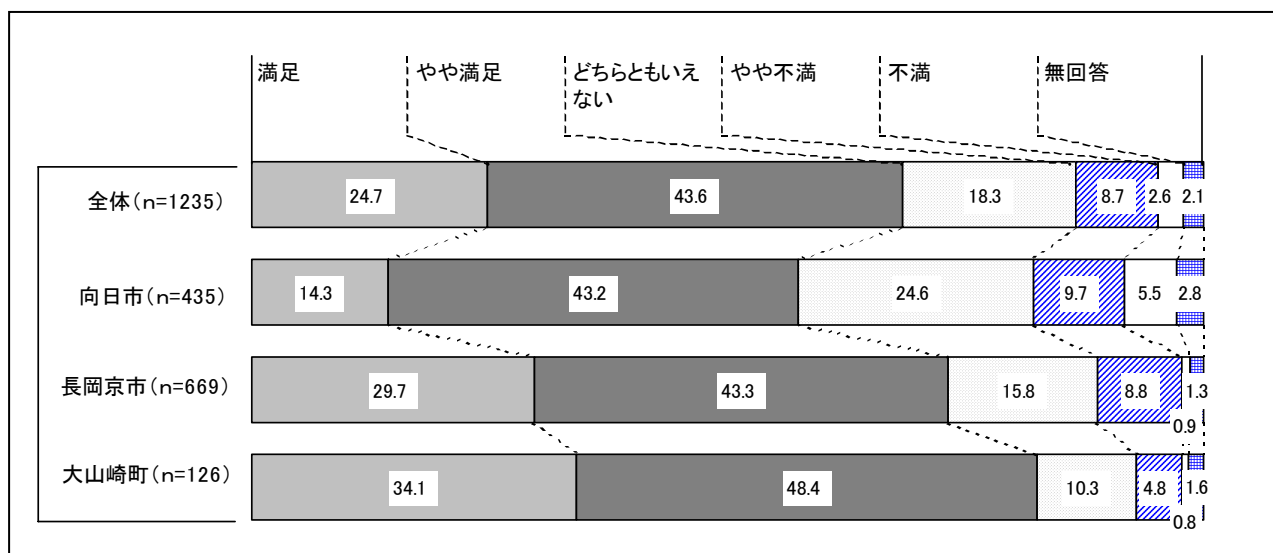
◎満足		×不満足	
①自然環境の豊かさ	3.81	①道路の整備状況	2.47
②ごみの収集・処理の状況	3.76	②スポーツ活動や施設整備の状況	2.94



(1) 自然環境の豊かさ

【市町別】

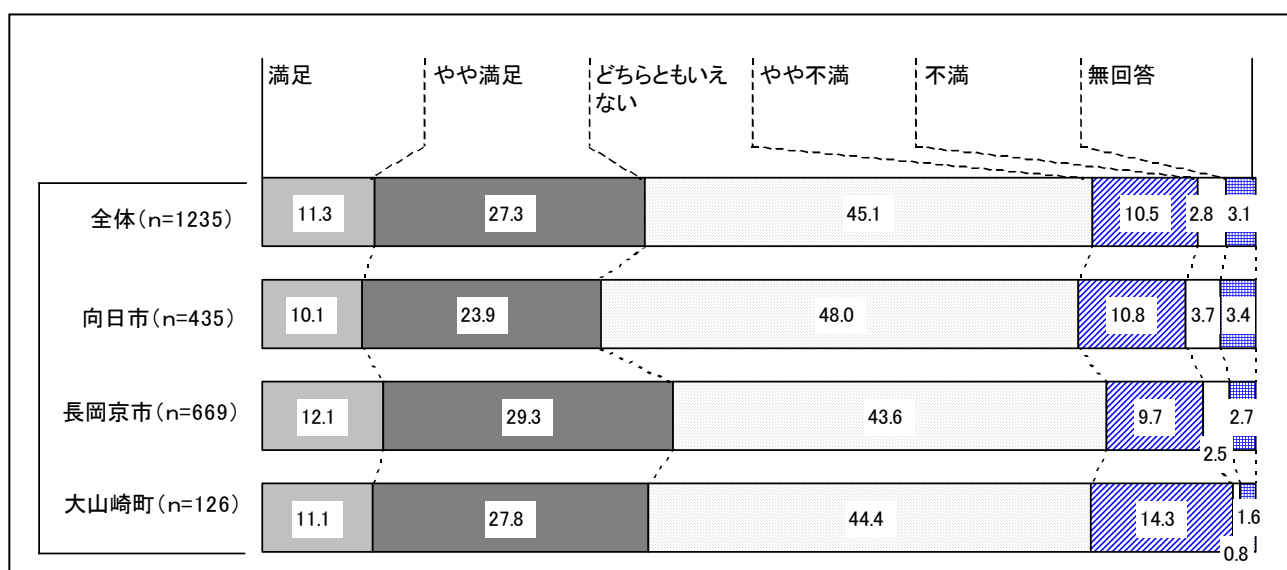
向日市 → 『満足』 (57.5%) > 『どちらともいえない』 (24.6%) > 『不満』 (15.2%)
 長岡京市 → 『満足』 (73.0%) > 『どちらともいえない』 (15.8%) > 『不満』 (9.7%)
 大山崎町 → 『満足』 (82.5%) > 『どちらともいえない』 (10.3%) > 『不満』 (5.6%)



(2) 火災や災害からの安全性

【市町別】

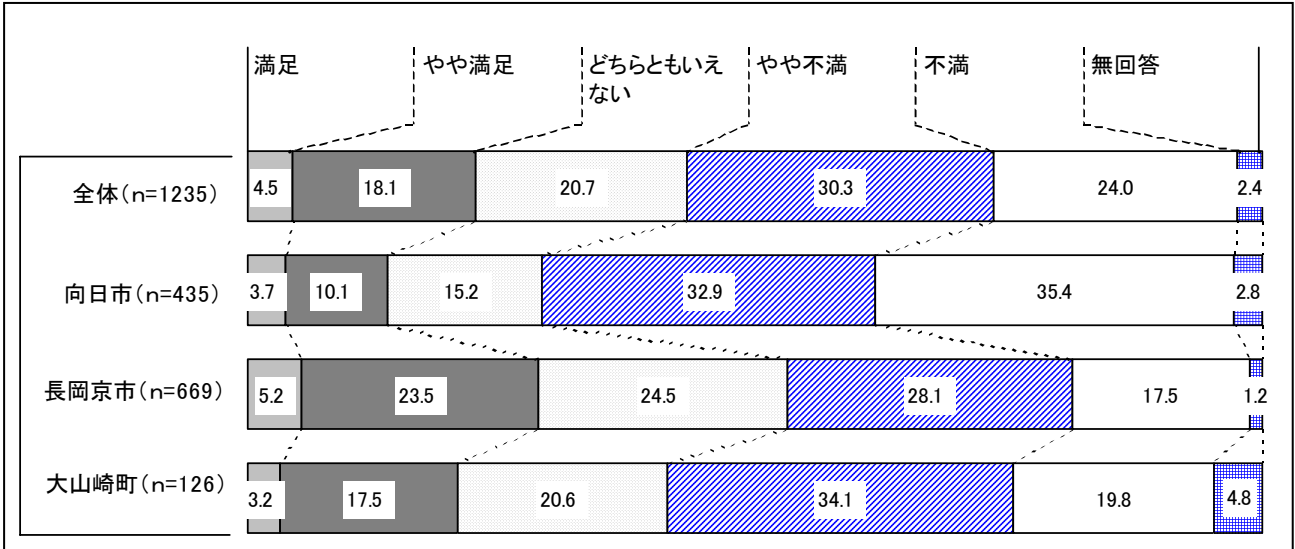
向日市 → 『どちらともいえない』 (48.0%) > 『満足』 (34.0%) > 『不満』 (14.5%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』 (43.6%) > 『満足』 (41.4%) > 『不満』 (12.2%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』 (44.4%) > 『満足』 (38.9%) > 『不満』 (15.1%)



(3) 道路の整備状況

【市町別】

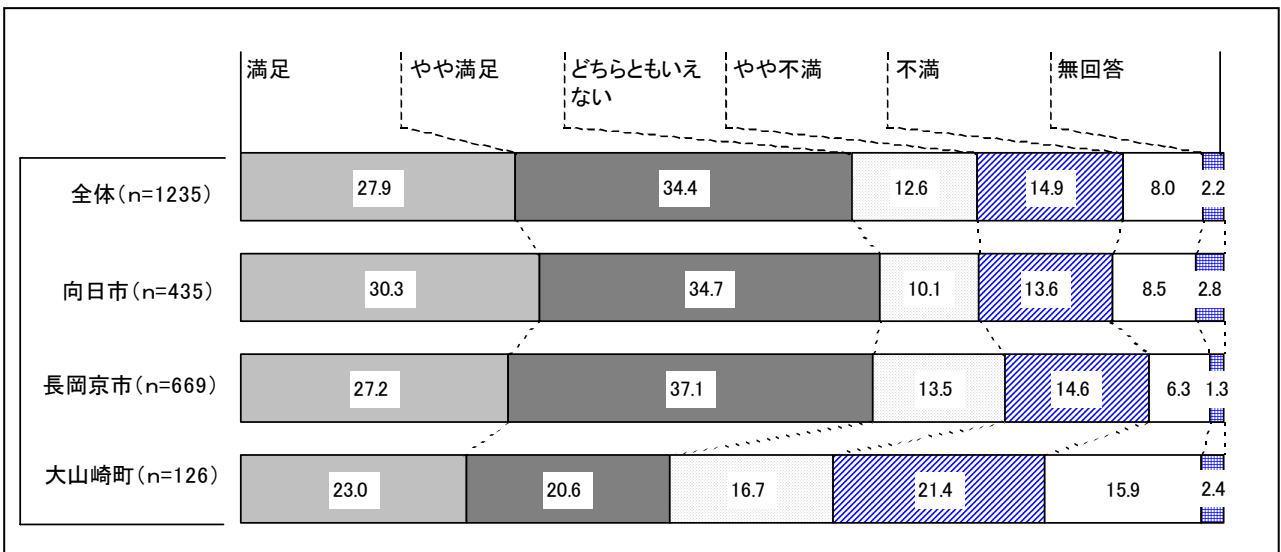
向日市 → 『不満』 (68.3%) > 『どちらともいえない』 (15.2%) > 『満足』 (13.8%)
 長岡京市 → 『不満』 (45.6%) > 『満足』 (28.7%) > 『どちらともいえない』 (24.5%)
 大山崎町 → 『不満』 (53.9%) > 『満足』 (20.7%) > 『どちらともいえない』 (20.6%)



(4) 交通機関の利便さ

【市町別】

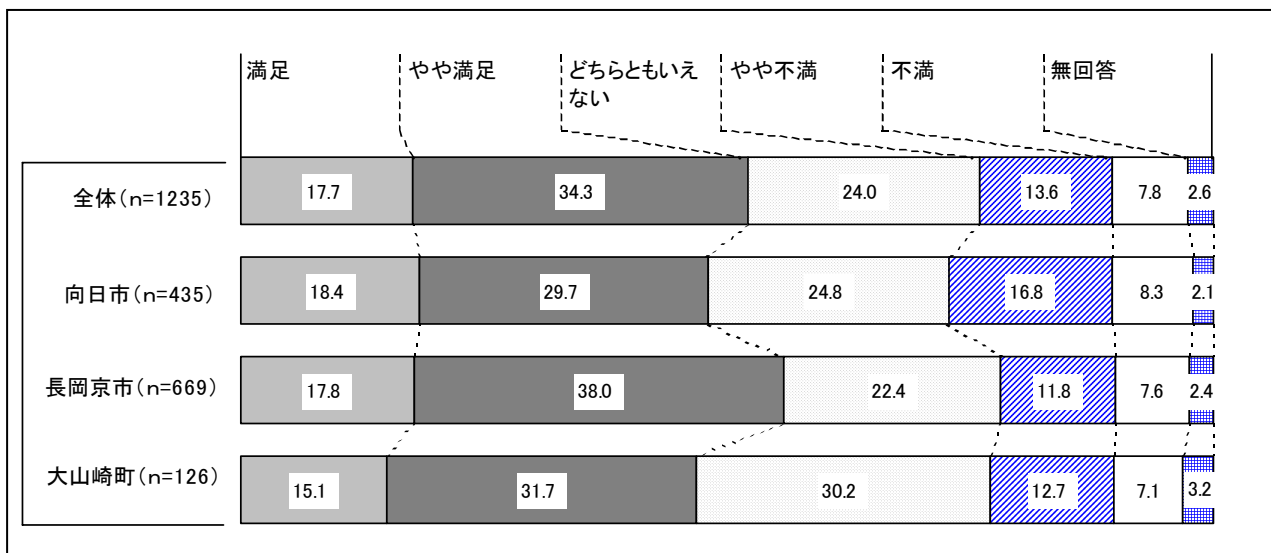
向日市 → 『満足』 (65.0%) > 『不満』 (22.1%) > 『どちらともいえない』 (10.1%)
 長岡京市 → 『満足』 (64.3%) > 『不満』 (20.9%) > 『どちらともいえない』 (13.5%)
 大山崎町 → 『満足』 (43.6%) > 『不満』 (37.3%) > 『どちらともいえない』 (16.7%)



(5) 騒音・振動・悪臭等の環境

【市町別】

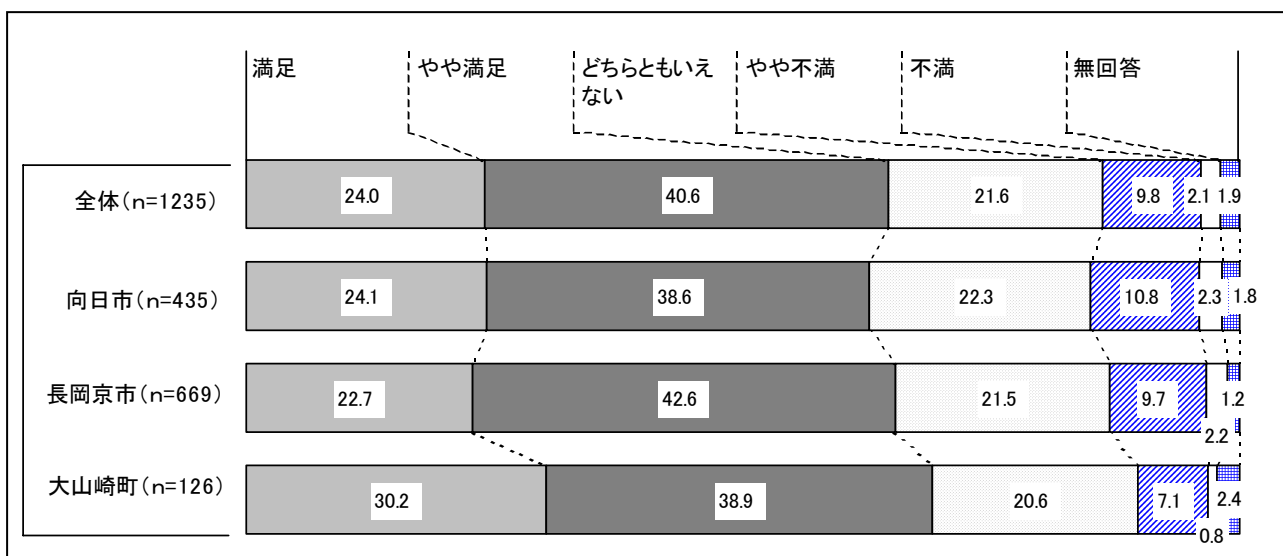
向日市 → 『満足』 (48.1%) > 『不満』 (25.1%) > 『どちらともいえない』 (24.8%)
 長岡京市 → 『満足』 (55.8%) > 『どちらともいえない』 (22.4%) > 『不満』 (19.4%)
 大山崎町 → 『満足』 (46.8%) > 『どちらともいえない』 (30.2%) > 『不満』 (19.8%)



(6) ごみの収集・処理の状況

【市町別】

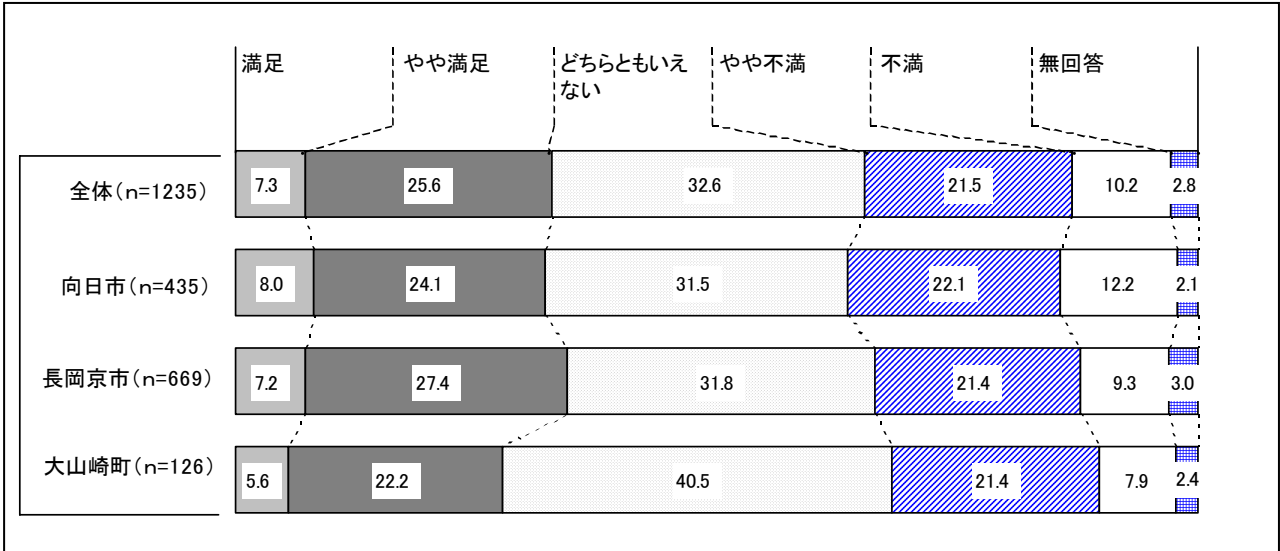
向日市 → 『満足』 (62.7%) > 『どちらともいえない』 (22.3%) > 『不満』 (13.1%)
 長岡京市 → 『満足』 (65.3%) > 『どちらともいえない』 (21.5%) > 『不満』 (11.9%)
 大山崎町 → 『満足』 (69.1%) > 『どちらともいえない』 (20.6%) > 『不満』 (7.9%)



(7) 公園・緑地・広場の整備状況

【市町別】

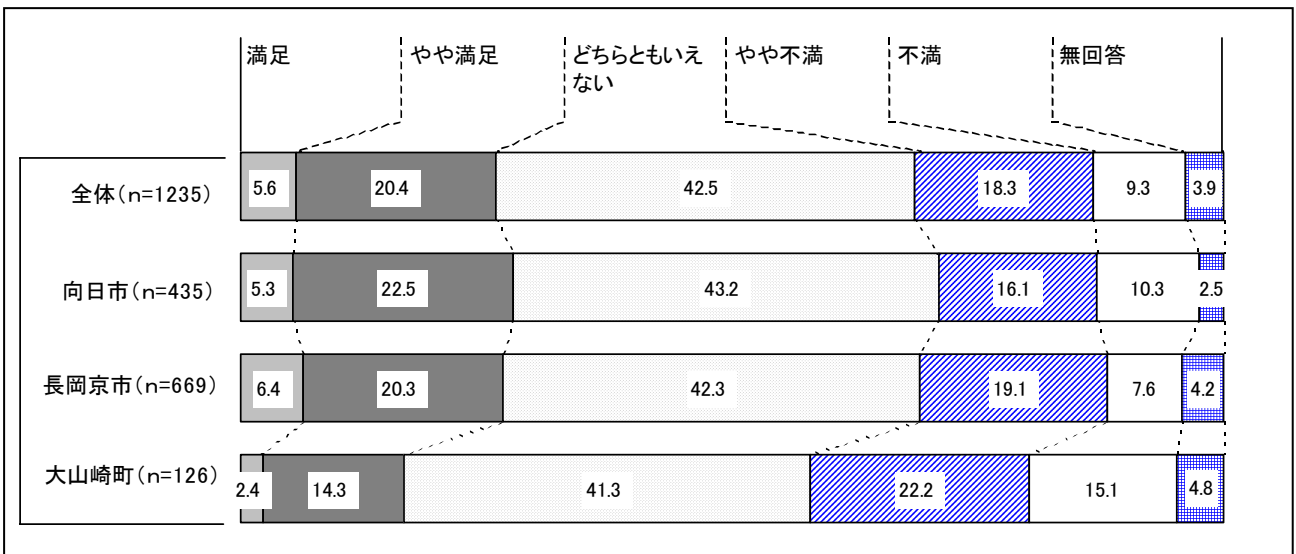
向日市 → 『不満』 (34.3%) > 『満足』 (32.1%) > 『どちらともいえない』 (31.5%)
 長岡京市 → 『満足』 (34.6%) > 『どちらともいえない』 (31.8%) > 『不満』 (30.7%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』 (40.5%) > 『不満』 (29.3%) > 『満足』 (27.8%)



(8) スポーツ活動や施設整備の状況

【市町別】

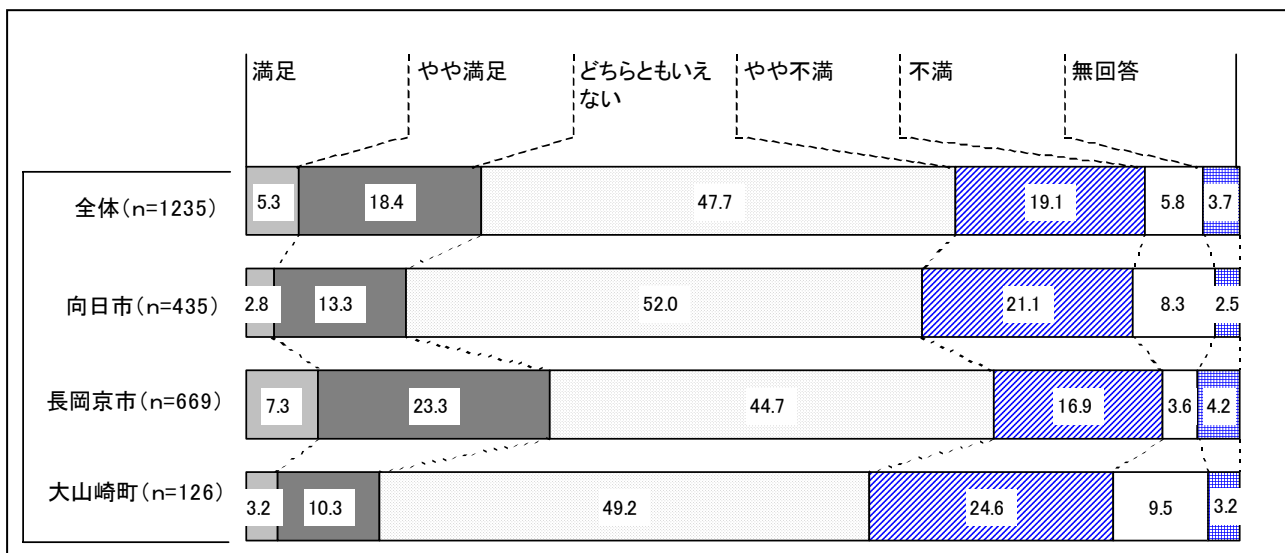
向日市 → 『どちらともいえない』 (43.2%) > 『満足』 (27.8%) > 『不満』 (26.4%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』 (42.3%) > 『満足』 (26.7%) = 『不満』 (26.7%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』 (41.3%) > 『不満』 (37.3%) > 『満足』 (16.7%)



(9) 生涯学習活動、芸術・文化活動や施設整備の状況

【市町別】

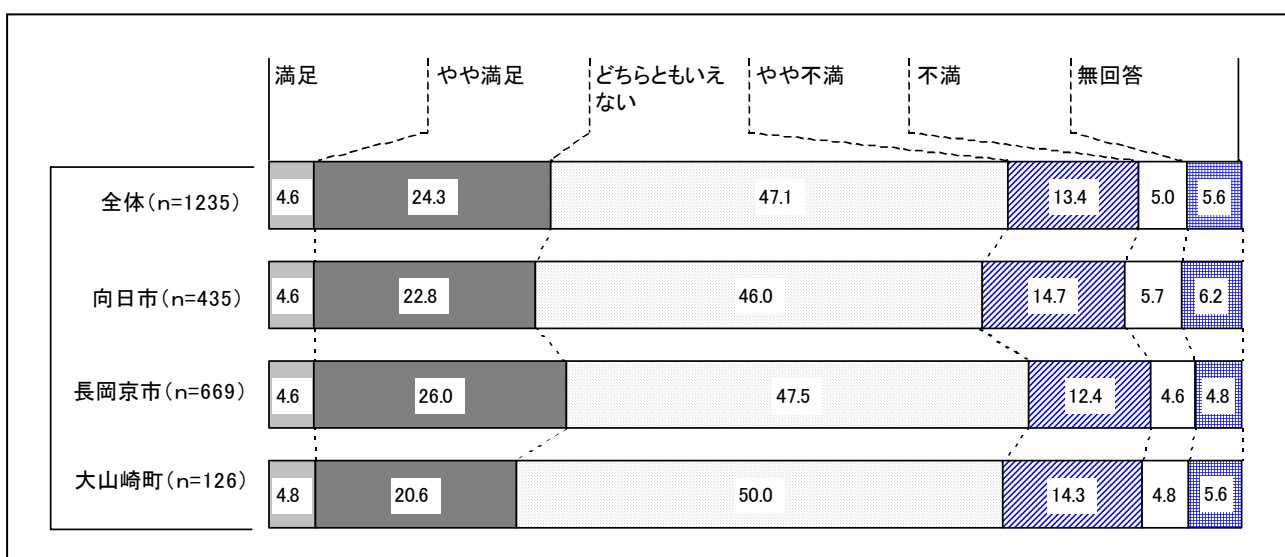
向日市 → 『どちらともいえない』(52.0%) > 『不満』(29.4%) > 『満足』(16.1%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』(44.7%) > 『満足』(30.6%) > 『不満』(20.5%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』(49.2%) > 『不満』(34.1%) > 『満足』(13.5%)



(10) 子どもの教育環境

【市町別】

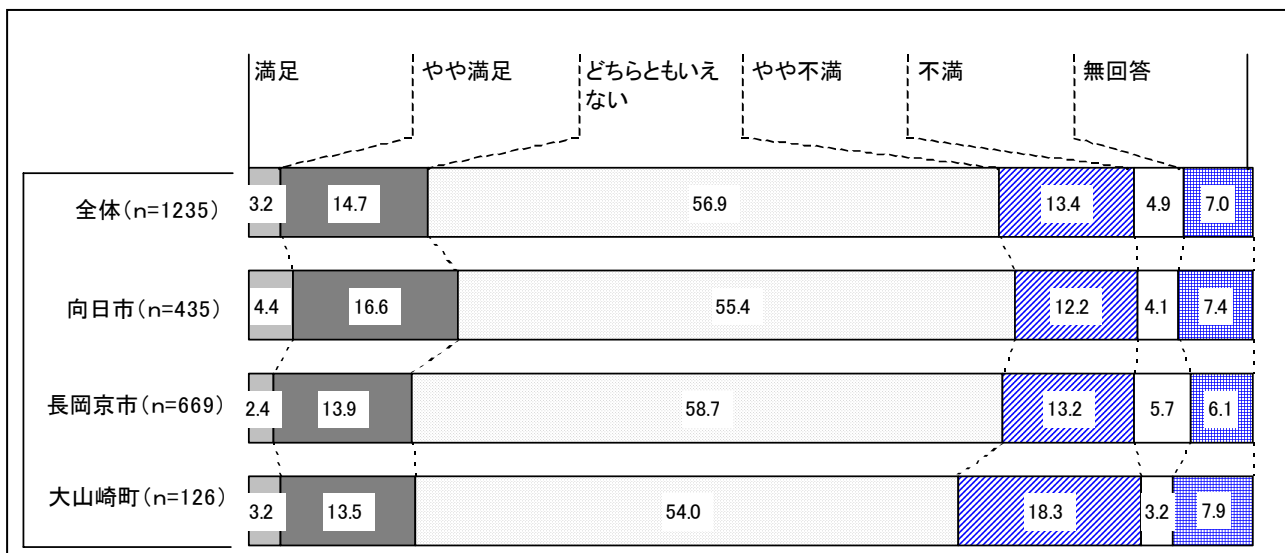
向日市 → 『どちらともいえない』(46.0%) > 『満足』(27.4%) > 『不満』(20.4%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』(47.5%) > 『満足』(30.6%) > 『不満』(17.0%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』(50.0%) > 『満足』(25.4%) > 『不満』(19.1%)



(11) 子育て支援の状況

【市町別】

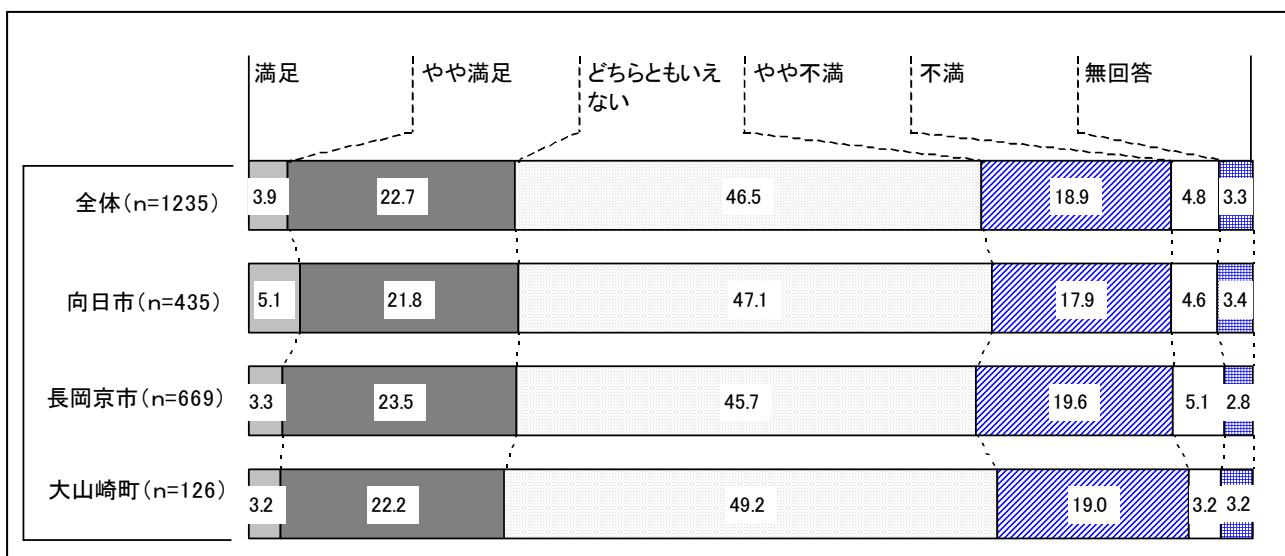
向日市 → 『どちらともいえない』 (55.4%) > 『満足』 (21.0%) > 『不満』 (16.3%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』 (58.7%) > 『不満』 (18.9%) > 『満足』 (16.3%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』 (54.0%) > 『不満』 (21.5%) > 『満足』 (16.7%)



(12) 防犯・地域の安全

【市町別】

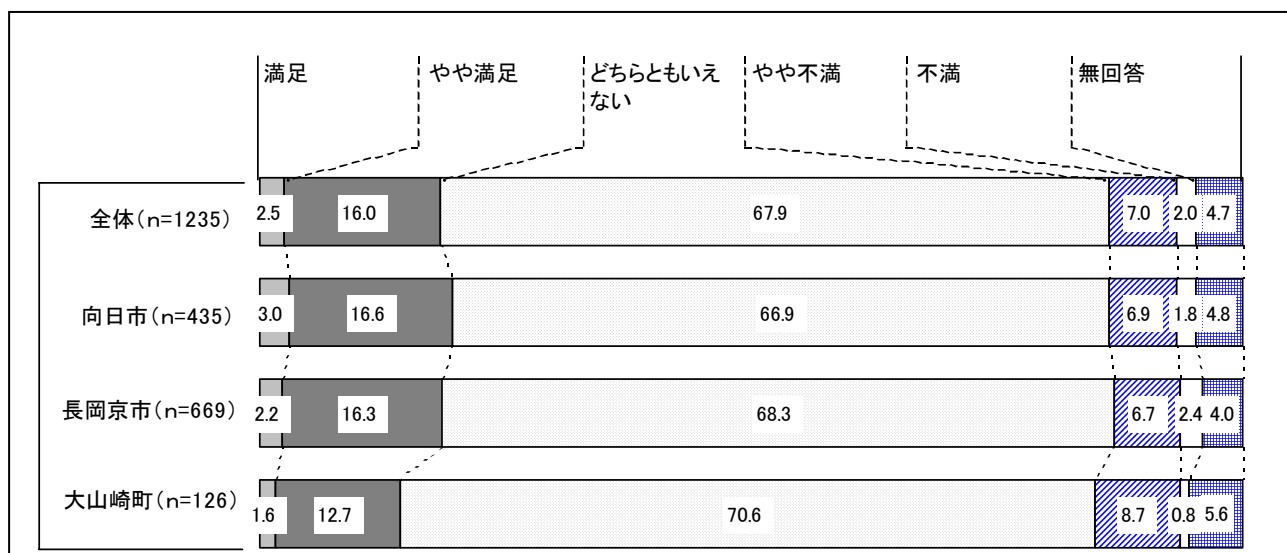
向日市 → 『どちらともいえない』 (47.1%) > 『満足』 (26.9%) > 『不満』 (22.5%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』 (45.7%) > 『満足』 (26.8%) > 『不満』 (24.7%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』 (49.2%) > 『満足』 (25.4%) > 『不満』 (22.2%)



(13) 男女平等意識や女性の社会参画の状況

【市町別】

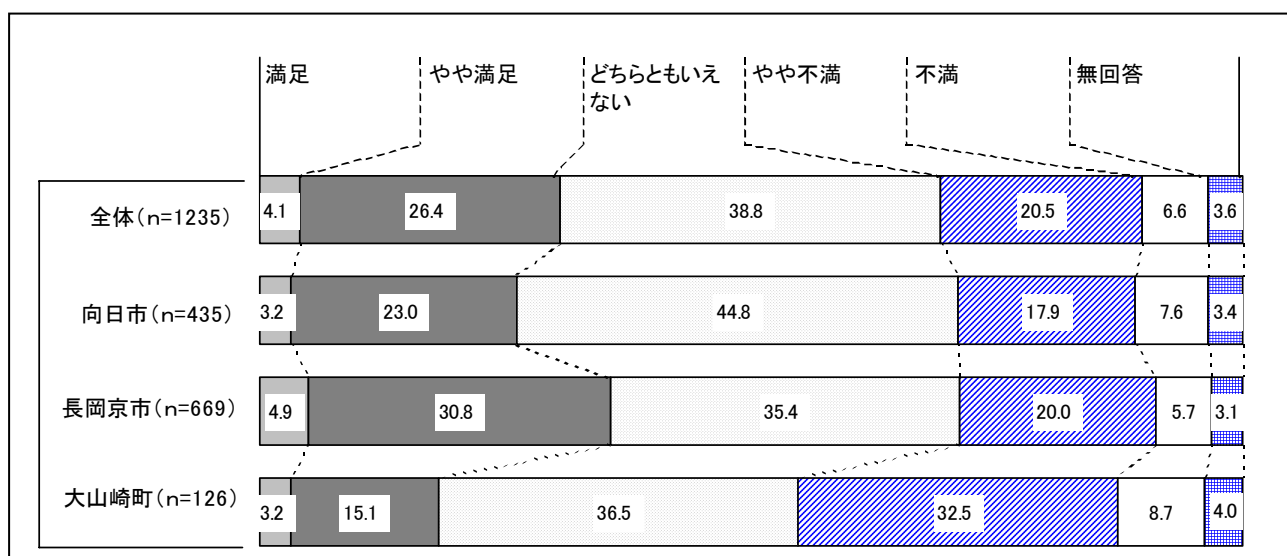
向日市 → 『どちらともいえない』(66.9%) > 『満足』(19.6%) > 『不満』(8.7%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』(68.3%) > 『満足』(18.5%) > 『不満』(9.1%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』(70.6%) > 『満足』(14.3%) > 『不満』(9.5%)



(14) 保健・医療サービスや施設整備の状況

【市町別】

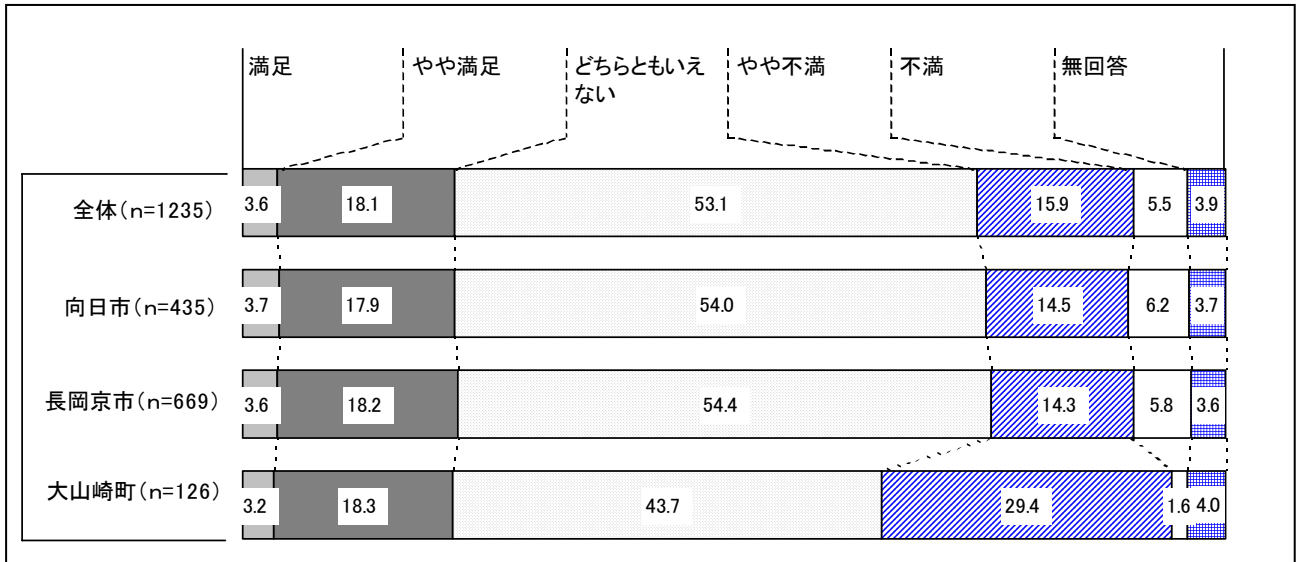
向日市 → 『どちらともいえない』(44.8%) > 『満足』(26.2%) > 『不満』(25.5%)
 長岡京市 → 『満足』(35.7%) > 『どちらともいえない』(35.7%) > 『不満』(25.7%)
 大山崎町 → 『不満』(41.2%) > 『どちらともいえない』(36.5%) > 『満足』(18.3%)



(15) 福祉サービスや施設整備の状況

【市町別】

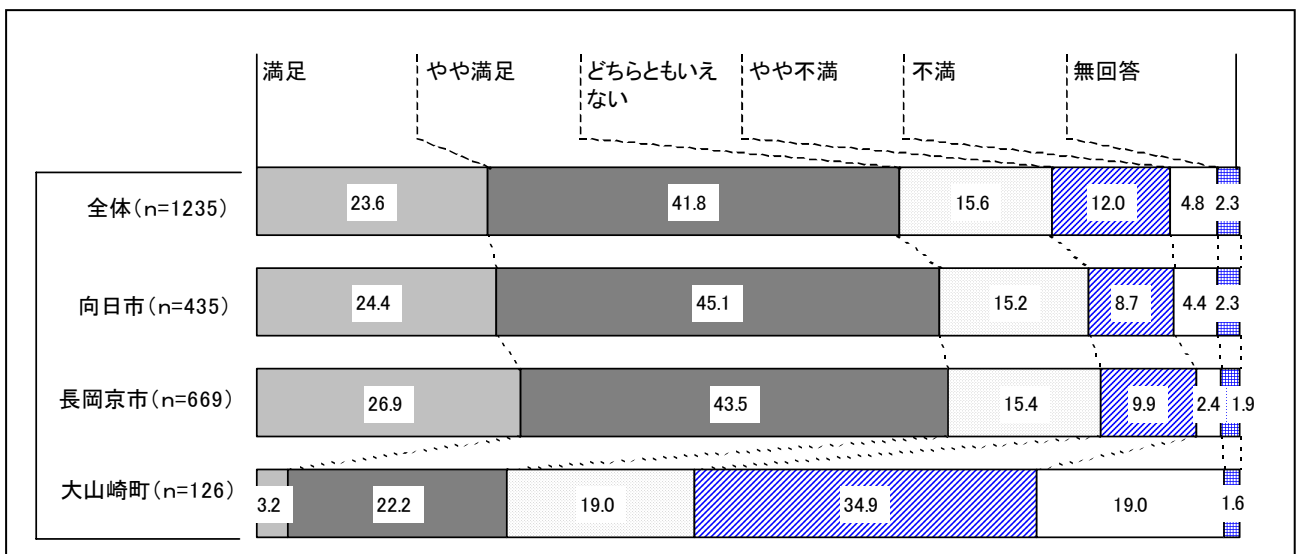
向日市 → 『どちらともいえない』 (54.0%) > 『満足』 (21.6%) > 『不満』 (20.7%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』 (54.4%) > 『満足』 (21.8%) > 『不満』 (20.1%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』 (43.7%) > 『不満』 (31.0%) > 『満足』 (21.5%)



(16) 日常の買物の便利さ

【市町別】

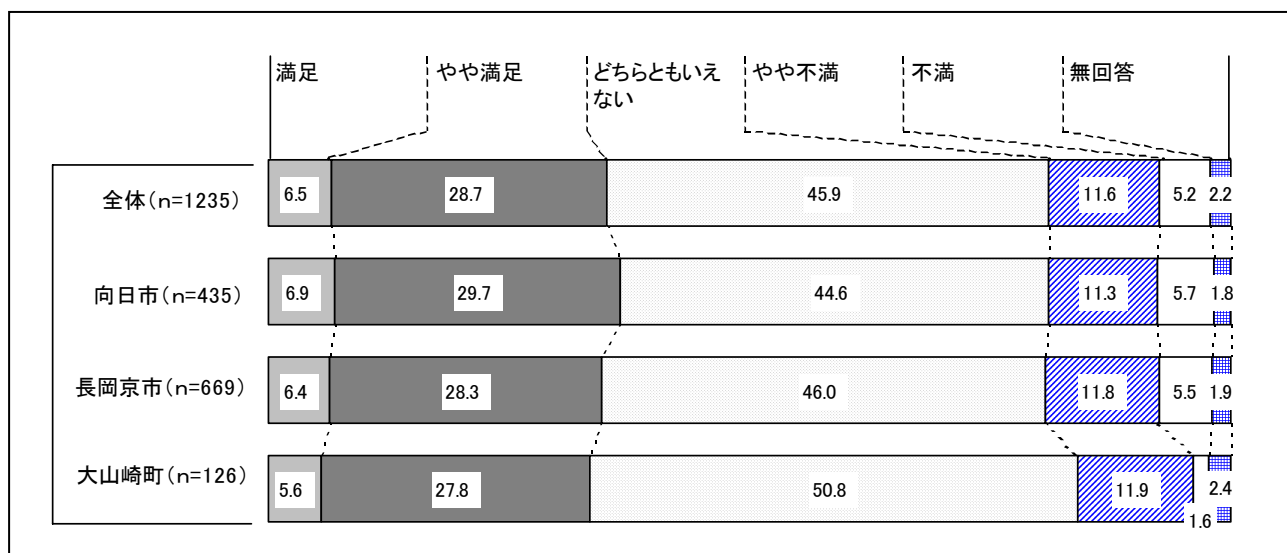
向日市 → 『満足』 (69.5%) > 『どちらともいえない』 (15.2%) > 『不満』 (13.1%)
 長岡京市 → 『満足』 (70.4%) > 『どちらともいえない』 (15.4%) > 『不満』 (12.3%)
 大山崎町 → 『不満』 (53.9%) > 『満足』 (25.4%) > 『どちらともいえない』 (19.0%)



(17) 人情味や地域の連帯感

【市町別】

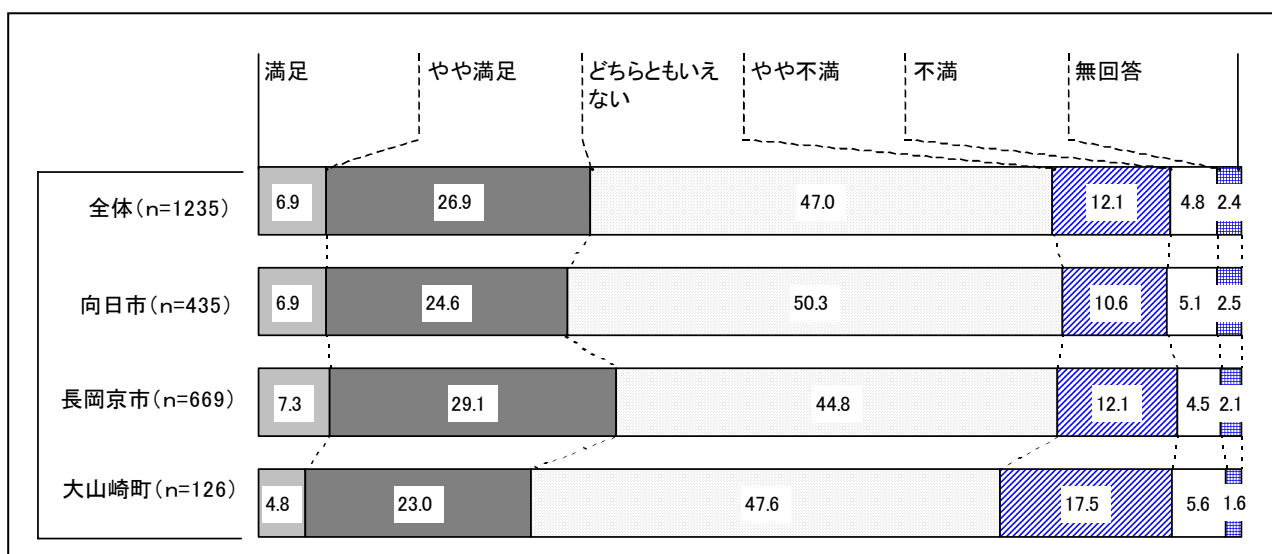
向日市 → 『どちらともいえない』 (44.6%) > 『満足』 (36.6%) > 『不満』 (17.0%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』 (46.0%) > 『満足』 (34.7%) > 『不満』 (17.3%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』 (50.8%) > 『満足』 (33.4%) > 『不満』 (13.5%)



(18) 行政情報や催事情報の提供状況

【市町別】

向日市 → 『どちらともいえない』 (50.3%) > 『満足』 (31.5%) > 『不満』 (15.7%)
 長岡京市 → 『どちらともいえない』 (44.8%) > 『満足』 (36.4%) > 『不満』 (16.6%)
 大山崎町 → 『どちらともいえない』 (47.6%) > 『満足』 (27.8%) > 『不満』 (23.1%)



問4 あなたが暮らすまちの将来のイメージとして、あなたはどれがふさわしいと思いますか。
(3つまで○印)

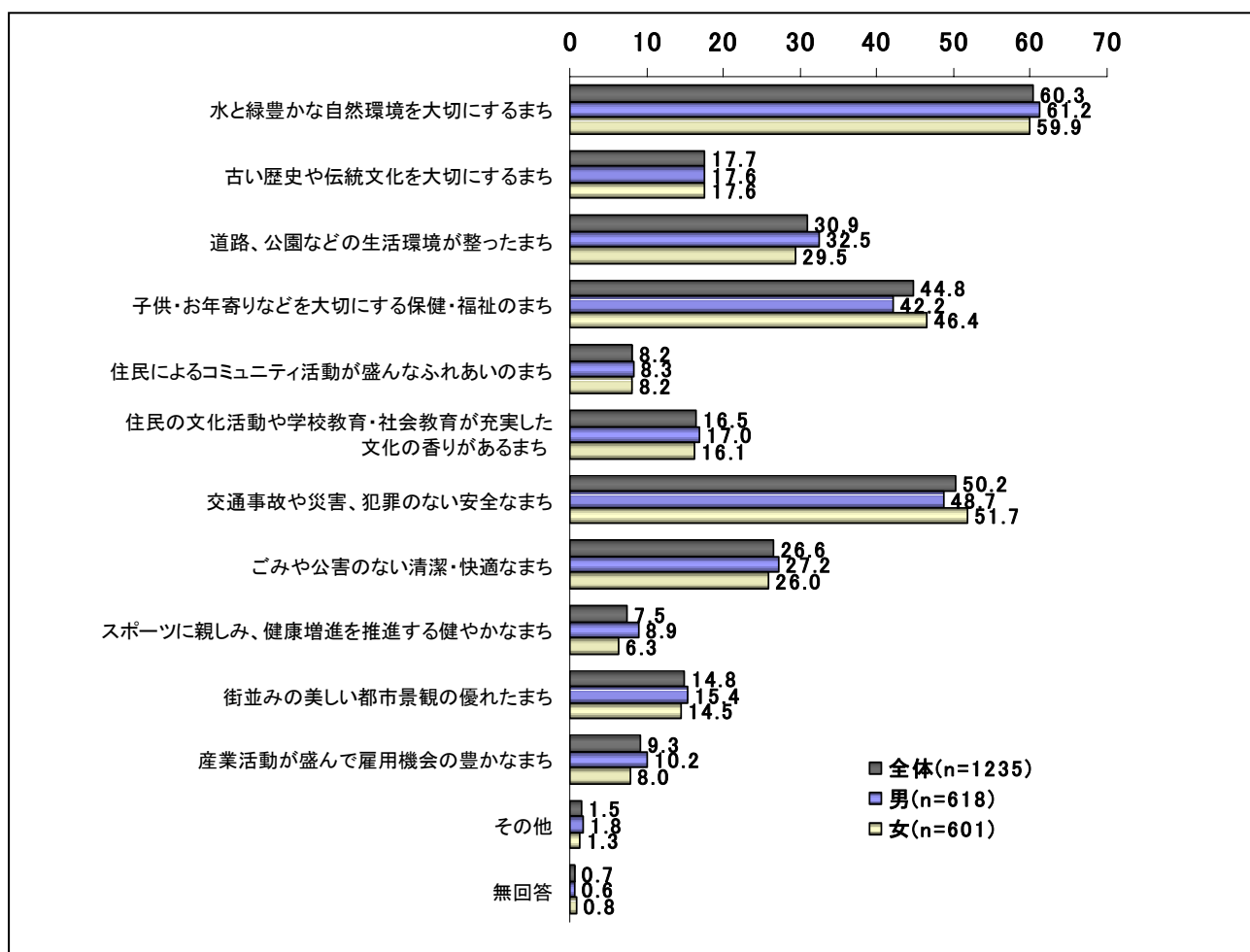
「水と緑豊かな自然環境を大切にすまち」60.3%、
「交通事故や災害、犯罪のない安全なまち」50.2%の順

【全体】

「水と緑豊かな自然環境を大切にすまち」が60.3%と最も高く、「交通事故や災害、犯罪のない安全なまち」が50.2%、「子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち」が44.8%、「道路、公園などの生活環境が整ったまち」が30.9%と続いている。

【性別】

特に大きな差異は認められない。



【年代別】

「水と緑豊かな自然環境を大切にすまち」はいずれの年代においても高い数値を示しているが、70歳以上で最も高く70.5%となっている。また、30歳代で「道路、公園などの生活環境が整ったまち」が41.5%、70歳以上で「古い歴史や伝統文化を大切にすまち」が24.7%と、他の年代に比べ高くなっている。

【市町別】

向日市で「交通事故や災害、犯罪のない安全なまち」が54.9%と他の市町に比べ高くなっている。また、大山崎町で「古い歴史や伝統文化を大切にすまち」、「住民の文化活動や学校教育・社会教育が充実した文化の香りがあるまち」がそれぞれ26.2%、22.2%と他の市町に比べ高くなっている。

	回答人数	水と緑豊かな自然環境を大切にすまち	古い歴史や伝統文化を大切にすまち	道路、公園などの生活環境が整ったまち	子供・お年寄りなどを大切にす保健・福祉のまち	住民によるコミュニティ活動が盛んなふれあいのまち	住民の文化活動や学校教育・社会教育が充実した文化の香りがあるまち	交通事故や災害、犯罪のない安全なまち	ごみや公害のない清潔・快適なまち	スポーツに親しみ、健康増進を推進する健やかなまち	街並みの美しい都市景観の優れたまち	産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち	その他	無回答
全体	1235	60.3	17.7	30.9	44.8	8.2	16.5	50.2	26.6	7.5	14.8	9.3	1.5	0.7
10歳代	17	58.8	0.0	11.8	23.5	11.8	29.4	41.2	41.2	35.3	29.4	0.0	0.0	0.0
20歳代	91	60.4	19.8	38.5	42.9	11.0	17.6	44.0	28.6	5.5	15.4	6.6	1.1	1.1
30歳代	193	52.8	13.5	41.5	48.7	7.3	15.5	53.9	25.4	5.7	15.5	9.8	1.6	0.5
40歳代	194	54.6	18.0	34.0	37.1	7.7	18.0	52.6	31.4	9.8	14.4	8.2	2.6	0.0
50歳代	211	60.7	16.6	31.3	42.2	9.0	15.2	54.0	23.7	7.6	14.7	10.9	1.4	0.5
60歳代	271	60.1	15.1	27.3	47.2	9.2	19.2	47.2	27.7	9.6	15.1	12.9	1.1	0.7
70歳以上	251	70.5	24.7	22.7	48.6	6.4	13.1	49.0	23.1	4.0	13.1	6.4	1.6	1.6
向日市	435	53.1	16.8	36.8	48.0	8.7	15.4	54.9	24.6	5.7	16.1	10.3	0.9	0.5
長岡京市	669	65.0	16.6	28.8	43.6	7.8	16.1	48.1	27.4	8.8	14.2	8.8	1.5	0.7
大山崎町	126	61.1	26.2	21.4	38.1	8.7	22.2	46.0	28.6	7.1	13.5	8.7	4.0	1.6

問5 あなたは、まちづくりでどの施策を重点的に進めてほしいと思いますか。(3つまで○印)

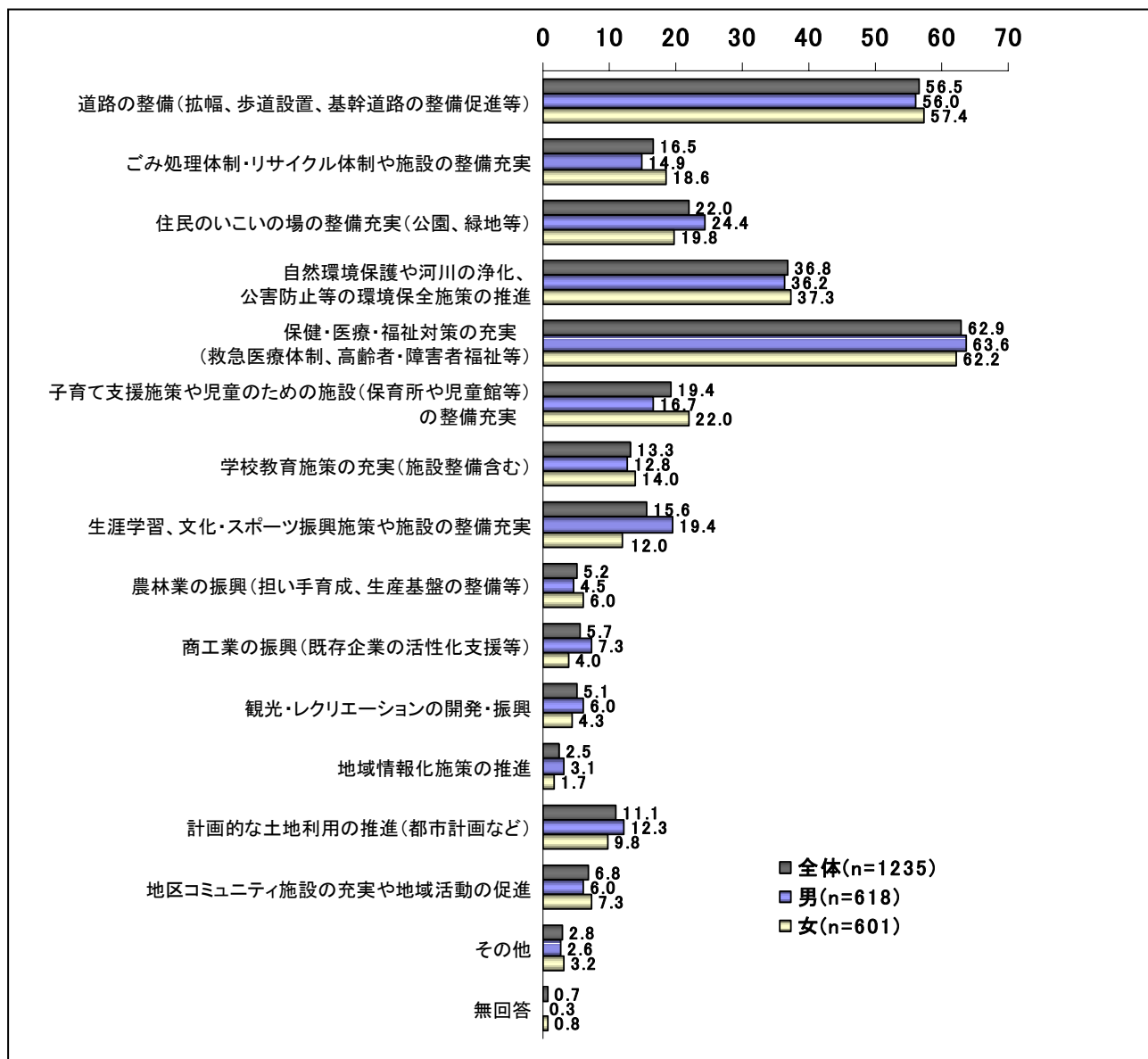
「保健・医療・福祉対策の充実(救急医療体制、高齢者・障害者福祉等)」62.9%、
「道路の整備(拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等)」56.5%の順

【全体】

「保健・医療・福祉対策の充実(救急医療体制、高齢者・障害者福祉等)」が62.9%、「道路の整備(拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等)」が56.5%、「自然環境保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進」が36.8%と続いている。

【性別】

男性で「生涯学習、文化・スポーツ振興施策や施設の整備充実」が19.4%と、女性(12.0%)に比べ7.4ポイント高くなっている。一方、女性で「子育て支援施策や児童のための施設(保育所や児童館等)の整備充実」が22.0%と、男性(16.7%)に比べ5.3ポイント高くなっている。



【年代別】

「保健・医療・福祉対策の充実（救急医療体制、高齢者・障害者福祉等）」は70歳以上が75.3%と最も高く、年代が上がるほど漸増する傾向になっている。また、30歳代で「子育て支援施策や児童のための施設（保育所や児童館等）の整備充実」が40.9%、20歳代で「ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実」「住民のいこいの場の整備充実（公園、緑地等）」がそれぞれ28.6%、33.0%と、他の年代に比べ高くなっている。

【市町別】

「保健・医療・福祉対策の充実（救急医療体制、高齢者・障害者福祉等）」はいずれの市町においても6割を超えているが、大山崎町で71.4%と最も高くなっている。向日市で「道路の整備（拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等）」が65.7%と、他の市町に比べ高くなっている。

	回答人数	道路の整備（拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等）	ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実	住民のいこいの場の整備充実（公園、緑地等）	自然環境保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進	保健・医療・福祉対策の充実（救急医療体制、高齢者・障害者福祉等）	子育て支援施策や児童のための施設（保育所や児童館等）の整備充実	学校教育施策の充実（施設整備含む）	生涯学習、文化・スポーツ振興施策や施設の整備充実	農林業の振興（担い手育成、生産基盤の整備等）	商工業の振興（既存企業の活性化支援等）	観光・レクリエーションの開発・振興	地域情報化施策の推進	計画的な土地利用の推進（都市計画など）	地区コミュニティ施設の充実や地域活動の促進	その他	無回答
全体	1235	56.5	16.5	22.0	36.8	62.9	19.4	13.3	15.6	5.2	5.7	5.1	2.5	11.1	6.8	2.8	0.7
10歳代	17	64.7	23.5	29.4	29.4	29.4	17.6	29.4	5.9	0.0	0.0	23.5	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0
20歳代	91	50.5	28.6	33.0	41.8	39.6	36.3	12.1	7.7	6.6	4.4	5.5	1.1	9.9	5.5	3.3	0.0
30歳代	193	52.3	14.0	24.9	30.6	52.3	40.9	22.3	11.9	4.1	5.7	5.2	1.0	8.3	3.6	2.6	1.0
40歳代	194	58.2	18.0	18.0	35.6	56.2	16.5	27.3	16.0	4.1	3.6	6.7	2.1	14.4	3.1	2.6	1.0
50歳代	211	57.8	19.4	18.0	41.2	61.6	13.3	6.6	19.4	6.2	9.0	2.4	2.8	13.7	8.1	4.7	0.0
60歳代	271	55.4	13.3	20.3	36.9	74.9	16.2	8.5	20.3	5.2	5.5	3.7	3.3	12.5	11.8	1.1	1.1
70歳以上	251	60.6	13.9	23.5	37.5	75.3	7.6	5.2	13.9	6.0	5.6	6.4	3.2	8.0	6.4	3.2	0.4
向日市	435	65.7	17.7	23.0	31.5	62.3	17.5	14.9	13.1	5.3	5.5	6.4	2.3	11.5	6.0	1.8	1.1
長岡京市	669	50.8	16.4	22.3	40.4	61.7	21.5	13.0	16.7	5.4	4.9	3.9	2.5	11.1	7.3	3.6	0.4
大山崎町	126	55.6	13.5	16.7	35.7	71.4	14.3	8.7	19.0	4.0	10.3	7.1	2.4	10.3	7.1	2.4	0.8

3 合併問題の調査研究の活動について

問6 現在、乙訓2市1町では、乙訓地域分科会を設置し、広域的な連携をはじめ「合併」も今後の方策のひとつとして、さまざまな調査・研究を行っています。あなたはこのような動きについてご存じですか。(1つに○印)

「よく知っている」と「多少は知っている」を合わせた『知っている』は51.6%

【全体】

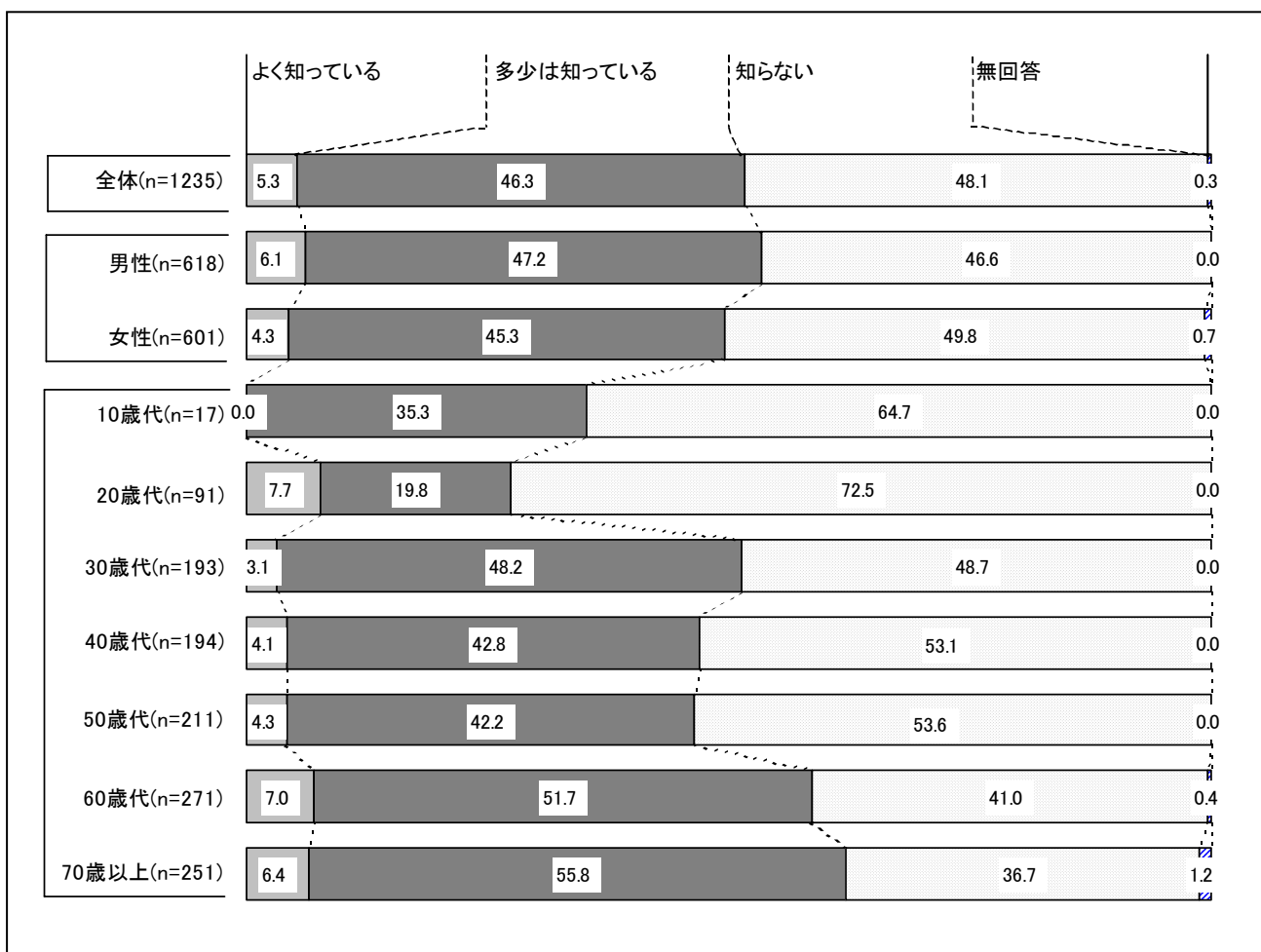
「多少は知っている」が46.3%、「よく知っている」が5.3%となっている。

【性別】

特に大きな差異は認められない。

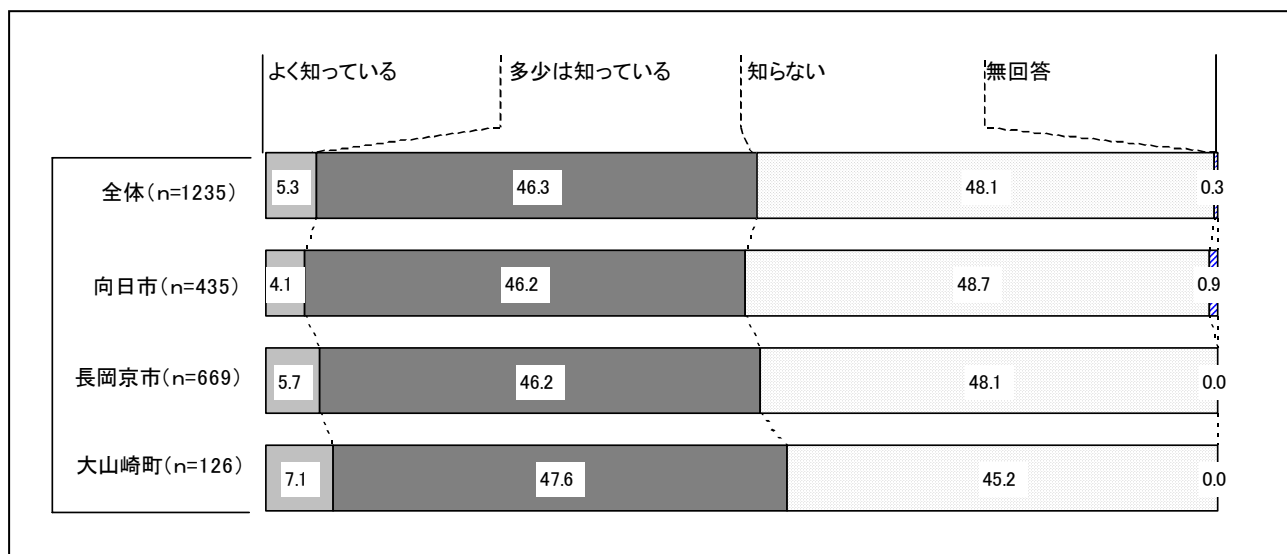
【年代別】

70歳以上で「多少は知っている」が55.8%と、他の年代に比べ高くなっている。また、20歳代で「知らない」が72.5%と、他の年代に比べ高くなっている。



【市町別】

特に大きな差異は認められない。



問7 あなたは、このような動きにどの程度関心がありますか。(1つに○印)

※「非常に関心がある」と「多少関心がある」を『関心がある』とする。また、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を『関心がない』とする。

『関心がある』75.2% > 『関心がない』24.4%

【全体】

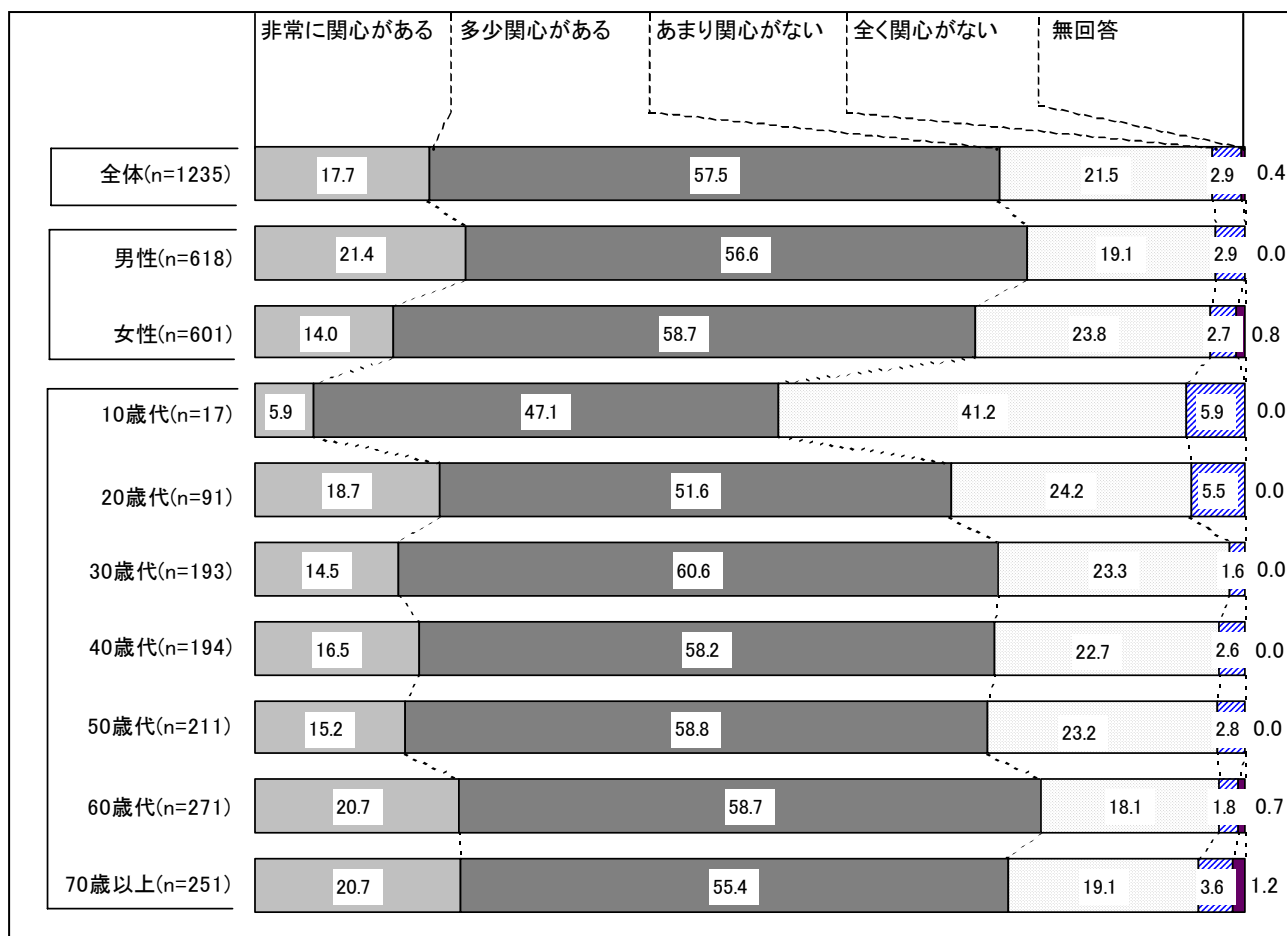
「多少関心がある」が57.5%と最も高く、「あまり関心がない」が21.5%、「非常に関心がある」が17.7%、「全く関心がない」が2.9%と続いている。

【性別】

男性で『関心がある』が78.0%と、女性(72.7%)に比べ5.3ポイント高くなっている。

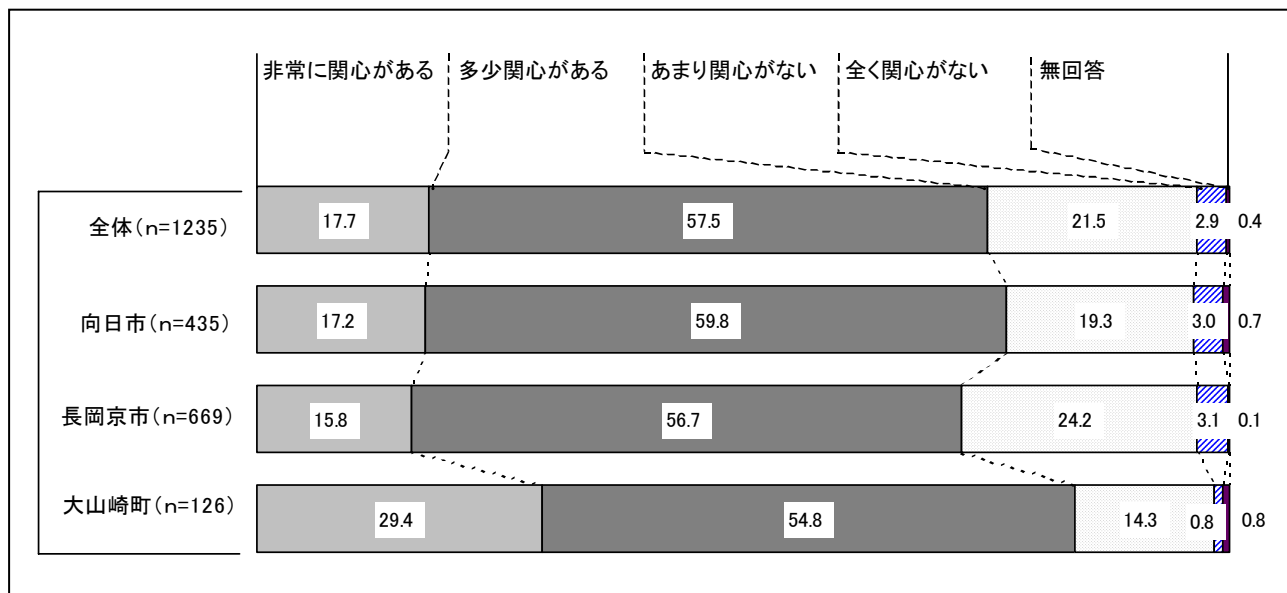
【年代別】

『関心がある』はいずれの年代層においても高い数値を示しているが、60歳代で最も高く約8割を占めている。



【市町別】

『関心がある』はいずれの市町においても7割を超えているが、大山崎町で84.2%と最も高くなっている。また、「非常に関心がある」も大山崎町では29.4%と他の市に比べ高くなっている。



4 合併問題について

問8 あなたは、乙訓2市1町の合併問題について、どのようにお考えですか。(1つに○印)

「どちらともいえない」が40.1%でトップ

【全体】

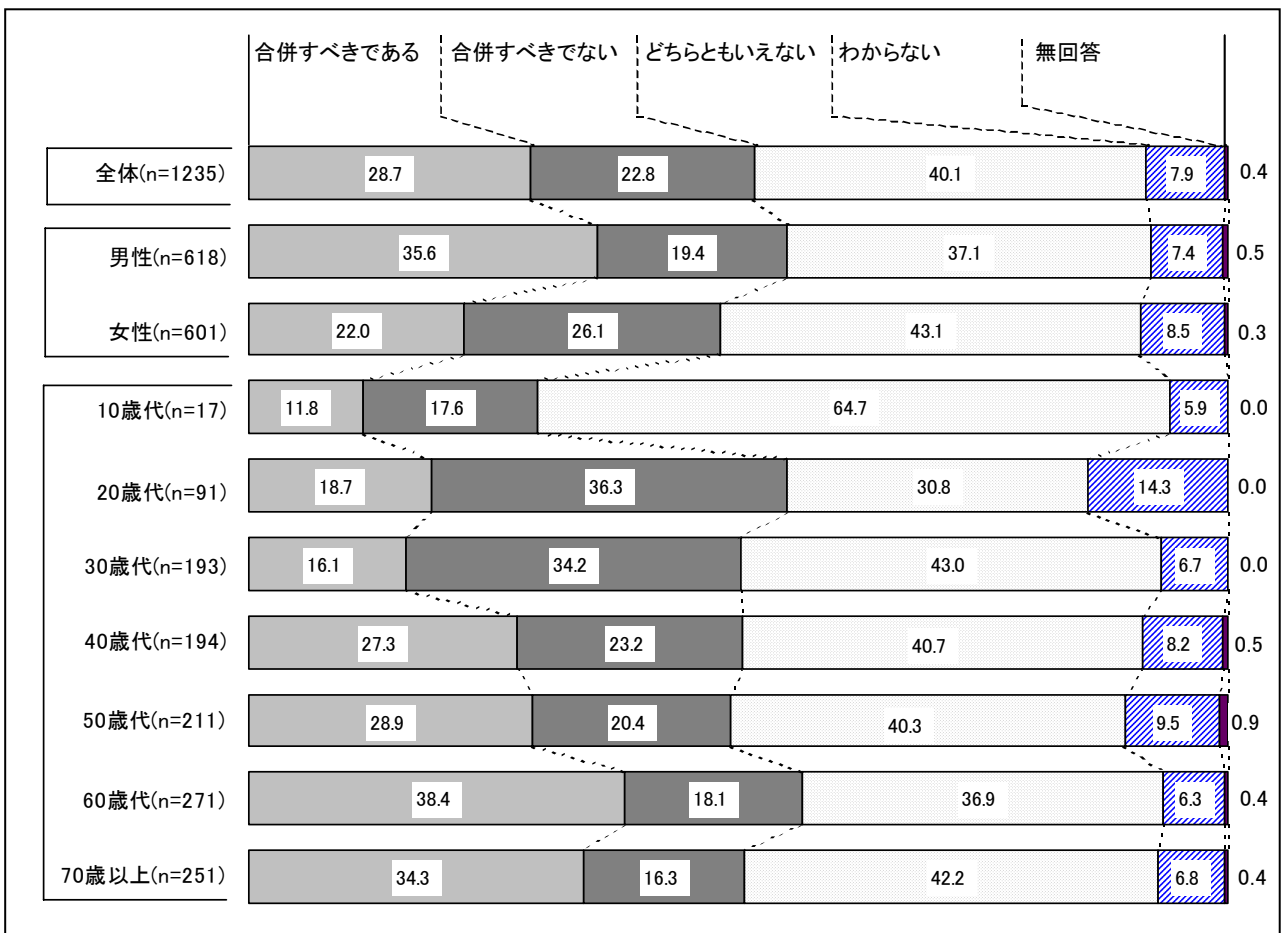
「どちらともいえない」が40.1%と最も高く、「合併すべきである」が28.7%、「合併すべきでない」が22.8%、「わからない」が7.9%と続いている。

【性別】

男性で「合併すべきである」が35.6%と、女性(22.0%)に比べ13.6ポイント高い。一方、女性で「合併すべきでない」が26.1%と、男性(19.4%)に比べ6.7ポイント高くなっている。

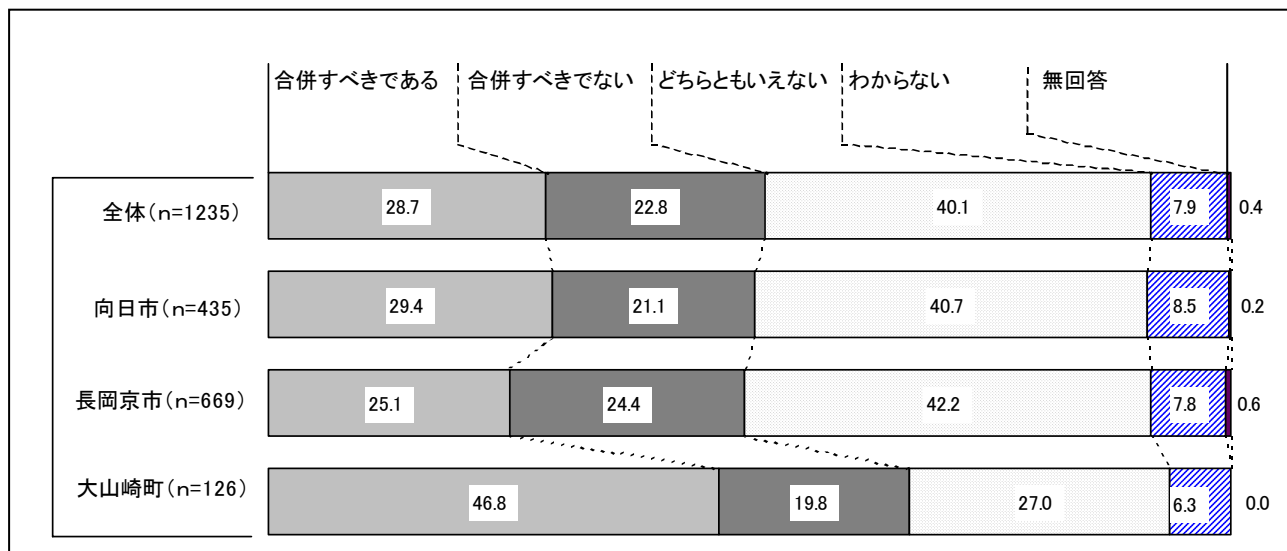
【年代別】

60歳代で「合併すべきである」が38.4%と最も高く、年代が上がるほど漸増する傾向がある。一方、20歳代で「合併すべきでない」が36.3%と最も高く、年代が上がるほど漸減する傾向がある。このことから、年代が上がるほど「合併すべきである」と考えている傾向がある。



【市町別】

2市1町とも「合併すべきである」が「合併すべきでない」を上回っているが、大山崎町では「合併すべきである」が46.8%と、他に比べ高く、長岡京市（25.1%）より21.7ポイント上回っている。一方、長岡京市では「合併すべきでない」が24.4%と、他に比べ比較的高くなっている。



【問8で〈1. 合併すべきである〉とした方のみお尋ねします】

問9① その理由は何ですか。(3つまで○印)

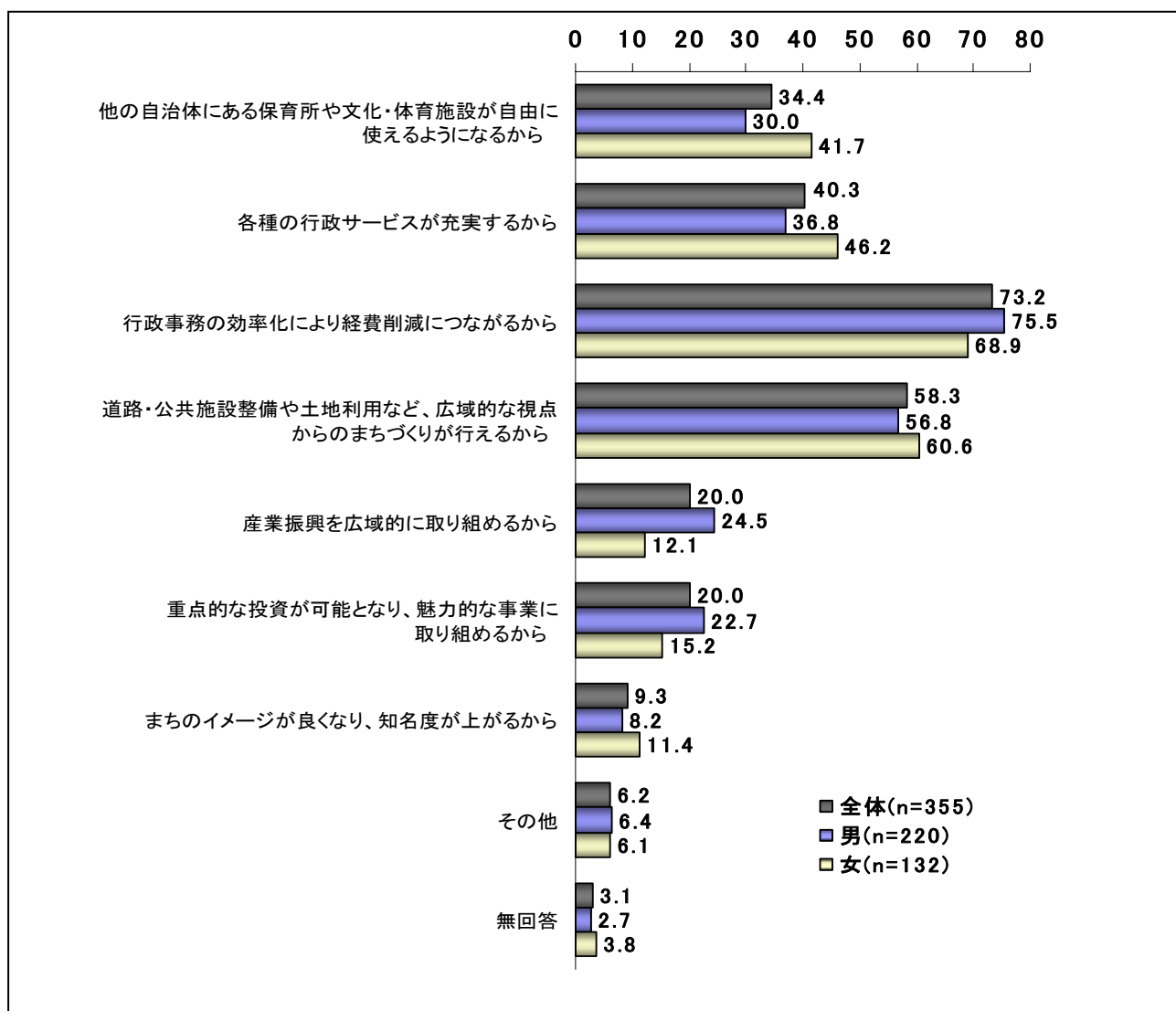
「行政事務の効率化により経費削減につながるから」が73.2%でトップ

【全体】

「行政事務の効率化により経費削減につながるから」が73.2%と最も高く、「道路・公共施設整備や土地利用など、広域的な視点からのまちづくりが行えるから」が58.3%、「各種の行政サービスが充実するから」が40.3%、「他の自治体にある保育所や文化・体育施設が自由に使えるようになるから」が34.4%と続いている。

【性別】

男性で「産業振興を広域的に取り組めるから」が24.5%と、女性(12.1%)より12.4ポイント高くなっている。一方、女性で「他の自治体にある保育所や文化・体育施設が自由に使えるようになるから」が41.7%と、男性(30.0%)より11.7ポイント高くなっている。



【年代別】

「道路・公共施設整備や土地利用など、広域的な視点からのまちづくりが行えるから」はいずれの年代においても5割以上を占めている。

【市町別】

「道路・公共施設整備や土地利用など、広域的な視点からのまちづくりが行えるから」は向日市で64.8%と他の市町に比べ高くなっている。「他の自治体にある保育所や文化・体育施設が自由に使えるようになるから」は、大山崎町が49.2%と最も高く、長岡京市(26.8%)より22.4ポイント上回っている。

	回答人数	他の自治体にある保育所や文化・体育施設が自由に使えるようになるから	各種の行政サービスが充実するから	行政事務の効率化により経費削減につながるから	道路・公共施設整備や土地利用など、広域的な視点からのまちづくりが行えるから	産業振興を広域的に取り組めるから	重点的な投資が可能となり、魅力的な事業に取り組めるから	まちのイメージが良くなり、知名度が上がるから	その他	無回答
全体	355	34.4	40.3	73.2	58.3	20.0	20.0	9.3	6.2	3.1
10歳代	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	17	47.1	52.9	41.2	52.9	23.5	29.4	5.9	17.6	0.0
30歳代	31	54.8	45.2	67.7	54.8	6.5	6.5	0.0	0.0	3.2
40歳代	53	37.7	45.3	75.5	52.8	13.2	18.9	9.4	13.2	0.0
50歳代	61	24.6	32.8	75.4	60.7	32.8	16.4	1.6	8.2	3.3
60歳代	104	34.6	37.5	76.0	68.3	22.1	23.1	12.5	2.9	2.9
70歳以上	86	30.2	43.0	75.6	51.2	17.4	20.9	15.1	4.7	4.7
向日市	128	37.5	39.1	74.2	64.8	20.3	20.3	7.0	6.3	3.9
長岡京市	168	26.8	42.3	75.6	53.6	19.6	22.6	10.1	6.0	3.0
大山崎町	59	49.2	37.3	64.4	57.6	20.3	11.9	11.9	6.8	1.7

問9② あなたが考える合併の枠組みはどれがふさわしいと思いますか。(1つに○印)

「向日市・長岡京市・大山崎町の2市1町」が68.2%

【全体】

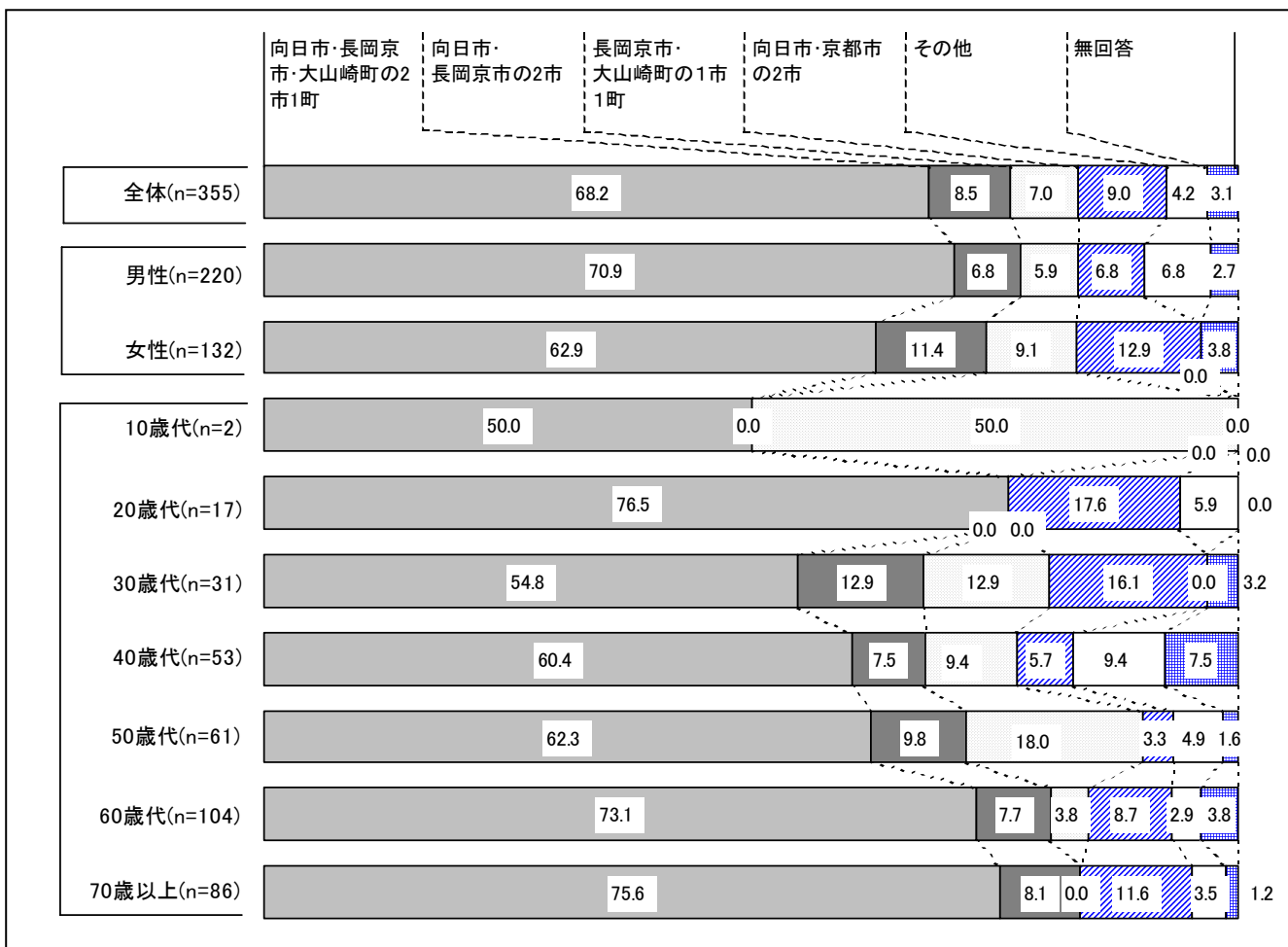
「向日市・長岡京市・大山崎町の2市1町」が68.2%で最も高く、「向日市・京都市の2市」が9.0%、「向日市・長岡京市の2市」が8.5%、「長岡京市・大山崎町の1市1町」が7.0%と続いている。

【性別】

「向日市・長岡京市・大山崎町の2市1町」が、男女ともに最も高く6割を超えているが、女性で「向日市・京都市の2市」が12.9%と、男性(6.8%)に比べ6.1ポイント高くなっている。

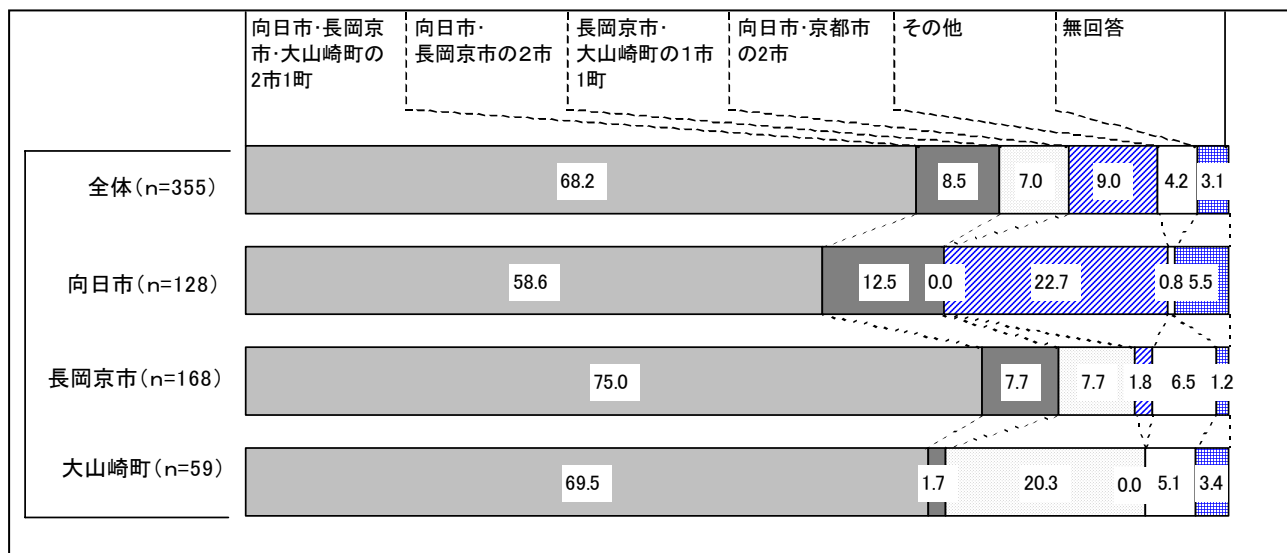
【年代別】

「向日市・長岡京市・大山崎町の2市1町」はいずれの年代層においても高い数値を示しているが、20歳代で最も高く76.5%となっている。



【市町別】

「向日市・長岡京市・大山崎町の2市1町」はいずれの市町においても高い数値を示しているが、長岡京市で最も高く75.0%となっている。



【問8で〈2. 合併すべきでない〉とした方にのみお尋ねします】

問10 その理由は何ですか。(3つまで○印)

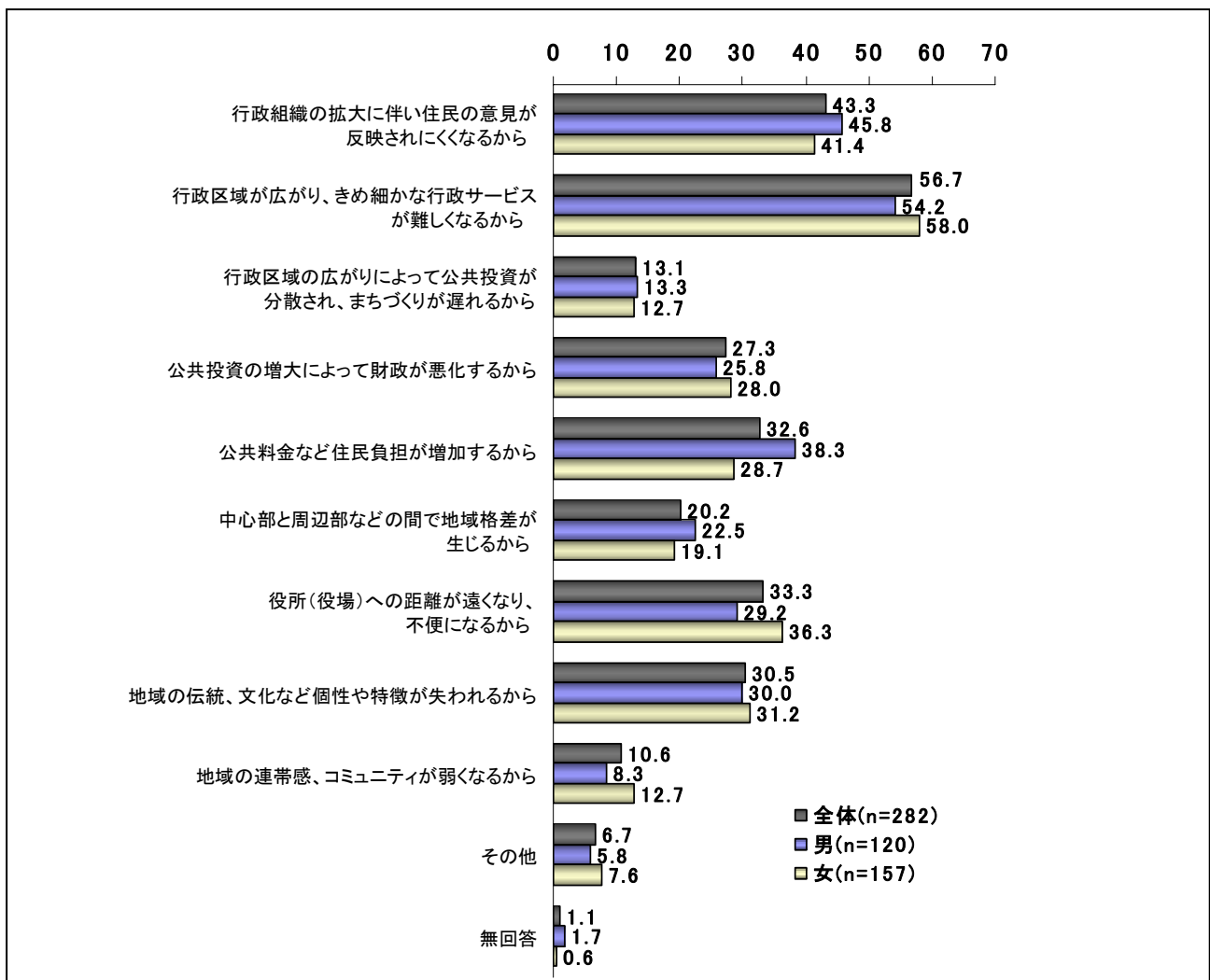
「行政区域が広がり、きめ細やかな行政サービスが難しくなるから」56.7%、
「行政組織の拡大に伴い住民の意見が反映されにくくなるから」43.3%の順

【全体】

「行政区域が広がり、きめ細やかな行政サービスが難しくなるから」が56.7%で最も高く、「行政組織の拡大に伴い住民の意見が反映されにくくなるから」が43.3%、「役所(役場)への距離が遠くなり、不便になるから」が33.3%、「公共料金など住民負担が増加するから」が32.6%と続いている。

【性別】

「行政区域が広がり、きめ細やかな行政サービスが難しくなるから」が、男女ともに最も高く5割を超えている。一方、男性で「公共料金など住民負担が増加するから」が38.3%と、女性(28.7%)に比べ9.6ポイント高くなっている。



【年代別】

50歳代では、「行政組織の拡大に伴い住民の意見が反映されにくくなるから」(53.5%)、「行政区域が広がり、きめ細やかな行政サービスが難しくなるから」(72.1%)が、20歳代では、「地域の伝統、文化など個性や特徴が失われるから」(45.5%)、「地域の連帯感、コミュニティが弱くなるから」(30.3%)が他の年代と比べ高くなっている。

【市町別】

「行政区域が広がり、きめ細やかな行政サービスが難しくなるから」はいずれの市町においても過半数を占めている。長岡京市では、「公共投資の増大によって財政が悪化するから」が35.0%と他の市町に比べ高くなっている。また、向日市、大山崎町では、「役所(役場)への距離が遠くなり、不便になるから」がそれぞれ50.0%、48.0%と長岡京市(22.1%)に比べ大きく上回っている。

	回答人数	行政組織の拡大に伴い住民の意見が反映されにくくなるから	行政区域が広がり、きめ細やかな行政サービスが難しくなるから	行政区域の広がりによって公共投資が分散され、まちづくりが遅れるから	公共投資の増大によって財政が悪化するから	公共料金など住民負担が増加するから	中心部と周辺部などの間で地域格差が生じるから	役所(役場)への距離が遠くなり、不便になるから	地域の伝統、文化など個性や特徴が失われるから	地域の連帯感、コミュニティが弱くなるから	その他	無回答
全体	282	43.3	56.7	13.1	27.3	32.6	20.2	33.3	30.5	10.6	6.7	1.1
10歳代	3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
20歳代	33	33.3	27.3	9.1	21.2	27.3	18.2	36.4	45.5	30.3	12.1	0.0
30歳代	66	37.9	54.5	9.1	30.3	36.4	16.7	39.4	36.4	7.6	7.6	0.0
40歳代	45	42.2	68.9	4.4	26.7	31.1	24.4	28.9	37.8	13.3	6.7	0.0
50歳代	43	53.5	72.1	23.3	25.6	30.2	27.9	27.9	27.9	0.0	2.3	0.0
60歳代	49	46.9	67.3	14.3	36.7	40.8	18.4	30.6	20.4	8.2	2.0	0.0
70歳以上	41	48.8	43.9	17.1	22.0	26.8	19.5	36.6	14.6	12.2	12.2	7.3
向日市	92	48.9	63.0	9.8	18.5	25.0	18.5	50.0	25.0	15.2	4.3	1.1
長岡京市	163	39.3	52.8	14.1	35.0	38.7	19.0	22.1	34.4	8.0	8.6	1.2
大山崎町	25	48.0	60.0	16.0	12.0	24.0	36.0	48.0	24.0	12.0	4.0	0.0

【問8で〈3. どちらともいえない〉とした方にのみお尋ねします】

問11 その理由は何ですか。(2つまで○印)

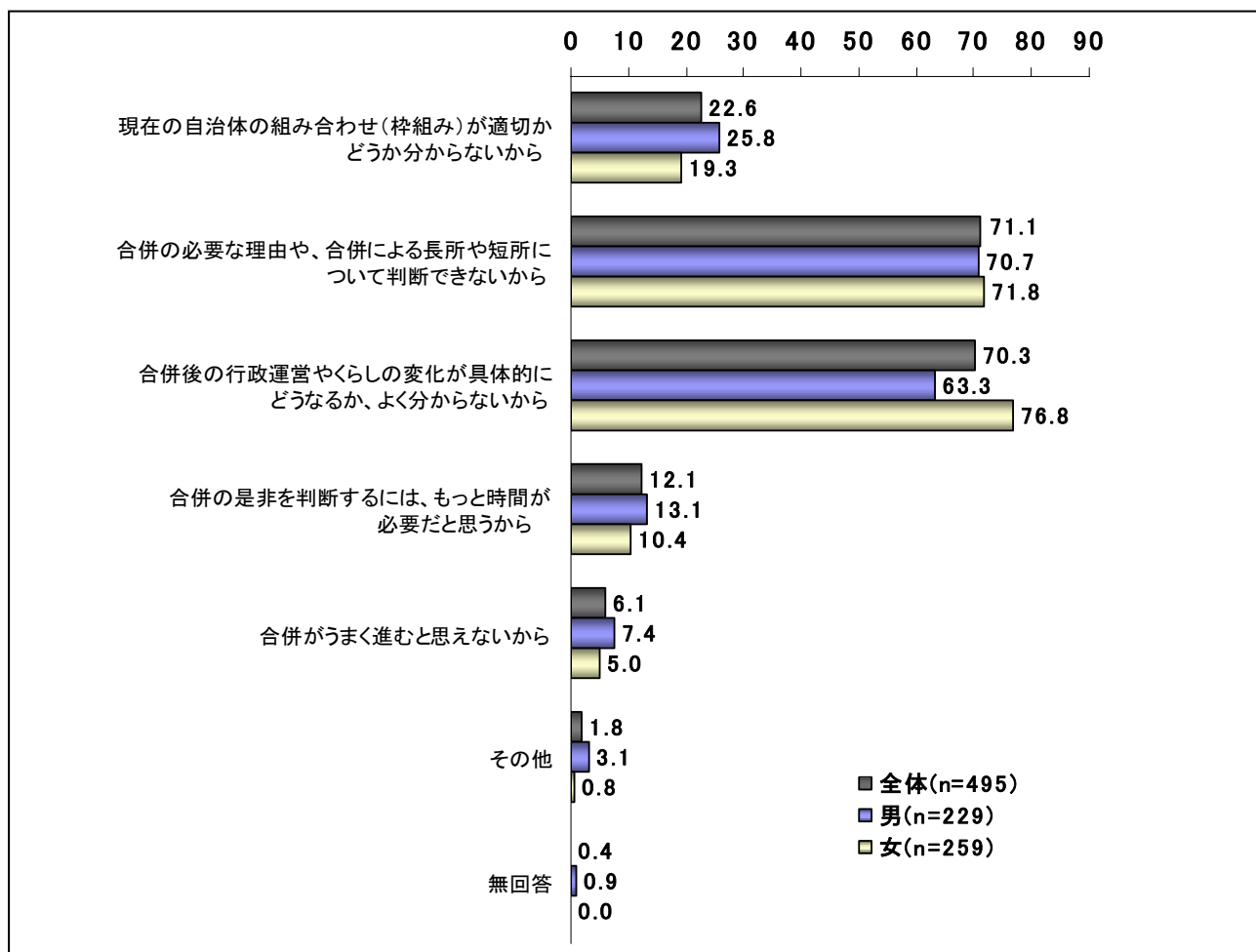
「合併の必要な理由や、合併による長所や短所について判断できないから」71.1%、
 「合併後の行政運営やくらしの変化が具体的にどうなるか、よく分からないから」
 70.3%の順

【全体】

「合併の必要な理由や、合併による長所や短所について判断できないから」が71.1%、「合併後の行政運営やくらしの変化が具体的にどうなるか、よく分からないから」が70.3%と高く、「現在の自治体の組み合わせ(枠組み)が適切かどうか分からないから」が22.6%と続いている。

【性別】

「合併の必要な理由や、合併による長所や短所について判断できないから」が、男女ともに7割を超えている。一方、女性で「合併後の行政運営やくらしの変化が具体的にどうなるか、よく分からないから」が76.8%と、男性(63.3%)に比べ13.5ポイント高くなっている。



【年代別】

「合併の必要な理由や、合併による長所や短所について判断できないから」はいずれの年代においても高い数値を示している。また、40歳代では「現在の自治体の組み合わせ（枠組み）が適切かどうか分からないから」が30.4%と他の年代に比べ高くなっている。

【市町別】

大山崎町では、「現在の自治体の組み合わせ（枠組み）が適切かどうか分からないから」が41.2%と、他の市町に比べ上回っている。

	回答人数	現在の自治体の組み合わせ（枠組み）が適切かどうか分からないから	合併の必要な理由や、合併による長所や短所について判断できないから	合併後の行政運営やくらしの変化が具体的にどうなるか、よく分からないから	合併の是非を判断するには、もっと時間が 必要だと思えるから	合併がうまく進むと思えないから	その他	無回答
全体	495	22.6	71.1	70.3	12.1	6.1	1.8	0.4
10歳代	11	0.0	90.9	45.5	9.1	18.2	0.0	0.0
20歳代	28	14.3	78.6	75.0	3.6	0.0	7.1	0.0
30歳代	83	14.5	80.7	75.9	6.0	4.8	0.0	0.0
40歳代	79	30.4	70.9	65.8	7.6	5.1	5.1	0.0
50歳代	85	25.9	74.1	65.9	17.6	4.7	0.0	0.0
60歳代	100	26.0	73.0	73.0	11.0	6.0	3.0	0.0
70歳以上	106	22.6	56.6	71.7	17.9	9.4	0.0	1.9
向日市	177	20.3	68.4	75.1	13.0	4.0	1.7	0.0
長岡京市	282	22.0	74.1	67.7	12.4	7.1	2.1	0.7
大山崎町	34	41.2	61.8	64.7	2.9	8.8	0.0	0.0

IV. 自由意見

合併や今後のまちづくりについて、ご提案やご要望などを記入していただきました自由意見について、主な内容を掲載します。(問8の選択肢毎)

「1. 合併すべきである」を選択

- 議員や職員の削減などによる経費節減や行政の効率化を図る。
- 調査結果について、広報誌などで知らせてほしい。合併問題への関心が高まるよう住民に対して、更なる情報発信が必要である。
- 合併により、乙訓全体の基幹道路や歩道の整備促進と、福祉や高齢者対策を充実してほしい。

「2. 合併すべきでない」を選択

- 合併による議員定数削減により、議員一人あたりの住民数が増加することになり、住民の意見が行政に反映しにくくなる。
- それぞれの市町には個々の良さがあり、ふるさとと思っている人も多い。自分の生まれ育ったまちの名前がなくなってしまうのは、大変寂しいものがある。
- 2市1町それぞれの行政区域が小さいので、民意が反映されやすく行政効果が保たれている。合併により行政効果は薄くなる。

「3. どちらともいえない」を選択

- 合併することによってのメリット、デメリットがわからないので、具体的な情報が欲しい。
- 行財政基盤の充実を必要と考えるが、行政改革を進めた上での合併なら良い。

「4. わからない」を選択

- 偏った行政ではなく、バランスのよい行政を望む。
- まちづくりは、十分に住民の民意を聞き、住民のためになることが前提であるから、十分な検討・協議をすべきである。

V. 資料

将来の乙訓2市1町のあり方(合併問題)に関する アンケート調査 ご協力をお願い

今日、交通・情報通信網の発達、日常生活圏の拡大、少子・高齢化の進展等を背景に、市町村に求められる行政サービスも多様化・高度化しています。

このような時代の要請に対応するためには、行財政基盤のさらなる充実・強化が求められるところですが、その具体的な方策のひとつとして「市町村合併」を検討していくことが必要であると考えています。

乙訓2市1町（向日市・長岡京市・大山崎町）では、2市1町と京都府山城広域振興局で構成される「京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会（略称：乙訓地域分科会）」において、合併問題について調査研究してまいりました。

その調査研究の一つとして、乙訓地域分科会では、2市1町にお住まいの満18歳以上（基準日：平成19年10月22日）の方から3,000人を選ばせていただき、合併問題を検討していくにあたっての基礎資料とするため、ご意見やお考えをうかがうことにいたしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成19年10月

向日市・長岡京市・大山崎町
京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会

記入上の注意

1. 宛名のご本人がお答えください。（ご本人による記入が難しいときは、代理の方に記入いただいても結構です。）
2. お答えは、設問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ指定されていますのでご注意ください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例、①）
3. ご記入いただいた調査票は11月9日（金）までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。（切手は不要です。）
4. この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会事務局
京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字松原 38
TEL:075-956-6755/6756 FAX:075-956-6755
E-mail:ocbunkakai-jmk2006@cap.ocn.ne.jp

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

ご本人による記入が難しいときは、代理の方に記入いただいても結構です。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1)あなたのお住まい	1. 向日市	2. 長岡京市	3. 大山崎町
(2)あなたの性別	1. 男	2. 女	
(3)あなたの年齢	1. 10歳代 4. 40歳代 7. 70歳以上	2. 20歳代 5. 50歳代	3. 30歳代 6. 60歳代
(4)あなたのご職業	1. 自営業・自由業 2. 会社員・公務員 3. 農林水産業 4. パートタイマー・アルバイト 5. 家事（主婦・夫） 6. 学生 7. 無職 8. その他（具体的に）		
(5)あなたの居住年数 （通算年数）	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上		

日常生活圏についておたずねします。

問2 あなたの生活行動のうち(1)～(6)について、主な行き先とその時の交通手段について、それぞれあてはまる番号1つに○印をつけてください。

	主な行き先（1つに○）								主な交通手段（1つに○）				
	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	その他の京都府内	大阪府内	その他	就労・就学していない	電車	バス	自家用車・バイク	自転車・徒歩	その他
(1)勤務先・通学先	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.	1.	2.	3.	4.	5.
(2)日用品の買物	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	—	1.	2.	3.	4.	5.
(3)耐久消費財（テレビ・家具など）の購入	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	—	1.	2.	3.	4.	5.
(4)映画・音楽などの娯楽	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	—	1.	2.	3.	4.	5.
(5)スポーツ・レクリエーション	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	—	1.	2.	3.	4.	5.
(6)病院や診療所	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	—	1.	2.	3.	4.	5.

くらしやまちの将来についておたずねします。

問3 あなたは、くらしの現状をどう思われますか。下記の(1)～(18)の各項目についてそれぞれあてはまる番号1つに○印をつけてください。

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満
(1)自然環境の豊かさ	1.	2.	3.	4.	5.
(2)火災や災害からの安全性	1.	2.	3.	4.	5.
(3)道路の整備状況	1.	2.	3.	4.	5.
(4)交通機関の便利さ	1.	2.	3.	4.	5.
(5)騒音・振動・悪臭等の環境	1.	2.	3.	4.	5.
(6)ごみの収集・処理の状況	1.	2.	3.	4.	5.
(7)公園・緑地・広場の整備状況	1.	2.	3.	4.	5.
(8)スポーツ活動や施設整備の状況	1.	2.	3.	4.	5.
(9)生涯学習活動、芸術・文化活動や 施設整備の状況	1.	2.	3.	4.	5.
(10)子どもの教育環境	1.	2.	3.	4.	5.
(11)子育て支援の状況	1.	2.	3.	4.	5.
(12)防犯・地域の安全	1.	2.	3.	4.	5.
(13)男女平等意識や女性の社会参画の状況	1.	2.	3.	4.	5.
(14)保健・医療サービスや施設整備の状況	1.	2.	3.	4.	5.
(15)福祉サービスや施設整備の状況	1.	2.	3.	4.	5.
(16)日常の買物の便利さ	1.	2.	3.	4.	5.
(17)人情味や地域の連帯感	1.	2.	3.	4.	5.
(18)行政情報や催事情報の提供状況	1.	2.	3.	4.	5.

問4 あなたが暮らすまちの将来イメージとして、あなたはどれがふさわしいと思いますか。(3つまで○印)

1. 水と緑豊かな自然環境を大切にするまち
2. 古い歴史や伝統文化を大切にするまち
3. 道路、公園などの生活環境が整ったまち
4. 子供・お年寄りなどを大切にする保健・福祉のまち
5. 住民によるコミュニティ活動が盛んなふれあいのまち
6. 住民の文化活動や学校教育・社会教育が充実した文化の香りがあるまち
7. 交通事故や災害、犯罪のない安全なまち
8. ごみや公害のない清潔・快適なまち
9. スポーツに親しみ、健康増進を推進する健やかなまち
10. 街並みの美しい都市景観の優れたまち
11. 産業活動が盛んで雇用機会の豊かなまち
12. その他(具体的に：)

問5 あなたは、まちづくりでどの施策を重点的に進めてほしいと思いますか。(3つまで○印)

1. 道路の整備(拡幅、歩道設置、基幹道路の整備促進等)
2. ごみ処理体制・リサイクル体制や施設の整備充実
3. 住民のいこいの場の整備充実(公園、緑地等)
4. 自然環境保護や河川の浄化、公害防止等の環境保全施策の推進
5. 保健・医療・福祉対策の充実(救急医療体制、高齢者・障害者福祉等)
6. 子育て支援施策や児童のための施設(保育所や児童館等)の整備充実
7. 学校教育施策の充実(施設整備含む)
8. 生涯学習、文化・スポーツ振興施策や施設の整備充実
9. 農林業の振興(担い手育成、生産基盤の整備等)
10. 商工業の振興(既存企業の活性化支援等)
11. 観光・レクリエーションの開発・振興
12. 地域情報化施策の推進
13. 計画的な土地利用の推進(都市計画など)
14. 地区コミュニティ施設の充実や地域活動の促進
15. その他(具体的に：)

合併問題の調査研究の活動についておたずねします。

問6 現在、乙訓2市1町では、乙訓地域分科会を設置し、広域的な連携をはじめ「合併」も今後の方策のひとつとして、さまざまな調査・研究を行っています。あなたはこのような動きについてご存じですか。(1つに○印)

- | | |
|------------|-------------|
| 1. よく知っている | 2. 多少は知っている |
| 3. 知らない | |

問7 あなたは、このような動きにどの程度関心がありますか。(1つに○印)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. 多少関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 全く関心がない |

合併問題についておたずねします。

問8 あなたは、乙訓2市1町の合併問題について、どのようにお考えですか。(1つに○印)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 合併すべきである | ⇒問9にお進みください。 |
| 2. 合併すべきでない | ⇒問10にお進みください。 |
| 3. どちらともいえない | ⇒問11にお進みください。 |
| 4. わからない | ⇒問12にお進みください。 |

問9 【問8で〈1. 合併すべきである〉とした方にのみお尋ねします】

① その理由は何ですか。(3つまで○印)

- | | |
|------------------------------------------|---|
| 1. 他の自治体にある保育所や文化・体育施設が自由に使えるようになるから | |
| 2. 各種の行政サービスが充実するから | |
| 3. 行政事務の効率化により経費削減につながるから | |
| 4. 道路・公共施設整備や土地利用など、広域的な視点からのまちづくりが行えるから | |
| 5. 産業振興を広域的に取り組めるから | |
| 6. 重点的な投資が可能となり、魅力的な事業に取り組めるから | |
| 7. まちのイメージが良くなり、知名度が上がるから | |
| 8. その他(具体的に： _____) |) |

※ 続いて②に進んで下さい。

② あなたが考える合併の枠組みはどれがふさわしいと思いますか。

(1つに○印)

1. 向日市・長岡京市・大山崎町の2市1町
2. 向日市・長岡京市の2市
3. 長岡京市・大山崎町の1市1町
4. 向日市・京都市の2市
5. その他（具体的に： _____)

問 10 【問 8 で〈2. 合併すべきでない〉とした方にのみお尋ねします】

その理由は何ですか。(3つまで○印)

1. 行政組織の拡大に伴い住民の意見が反映されにくくなるから
2. 行政区域が広がり、きめ細かな行政サービスが難しくなるから
3. 行政区域の広がりによって公共投資が分散され、まちづくりが遅れるから
4. 公共投資の増大によって財政が悪化するから
5. 公共料金など住民負担が増加するから
6. 中心部と周辺部などの間で地域格差が生じるから
7. 役所（役場）への距離が遠くなり、不便になるから
8. 地域の伝統、文化など個性や特徴が失われるから
9. 地域の連帯感、コミュニティが弱くなるから
10. その他（具体的に： _____)

問 11 【問 8 で〈3. どちらともいえない〉とした方にのみお尋ねします】

その理由は何ですか。(2つまで○印)

1. 現在の自治体の組み合わせ（枠組み）が適切かどうか分からないから
2. 合併の必要な理由や、合併による長所や短所について判断できないから
3. 合併後の行政運営やくらしの変化が具体的にどうなるか、よく分からないから
4. 合併の是非を判断するには、もっと時間が必要だと思うから
5. 合併がうまく進むと思えないから
6. その他（具体的に： _____)

**将来の乙訓2市1町のあり方（合併問題）に関する
アンケート調査報告書**

発行日／平成20年2月

発行／京都南部地域行政改革推進会議乙訓地域分科会

〒617-0006 京都府向日市上植野町馬立8

電話：(075)-935-5361/5362

FAX：(075)-935-5361
